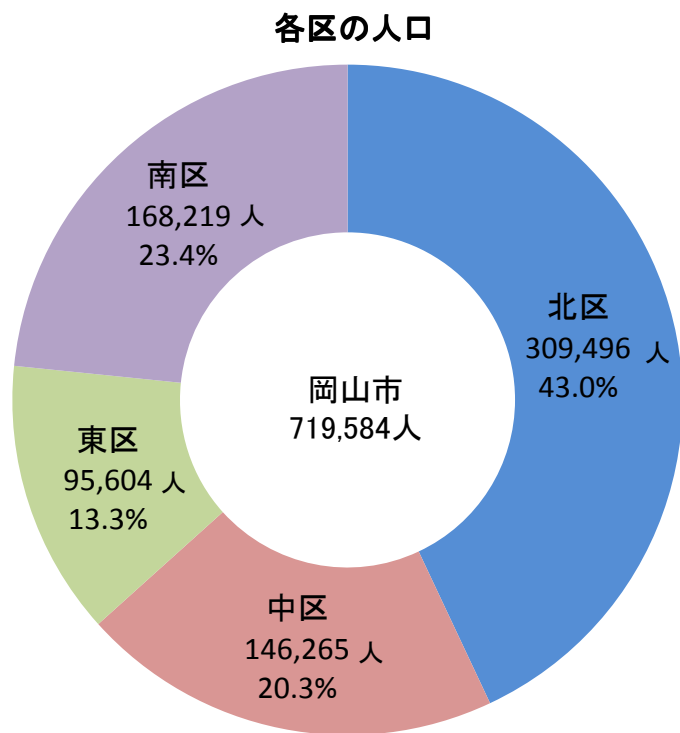


# 区別計画 参考データ集

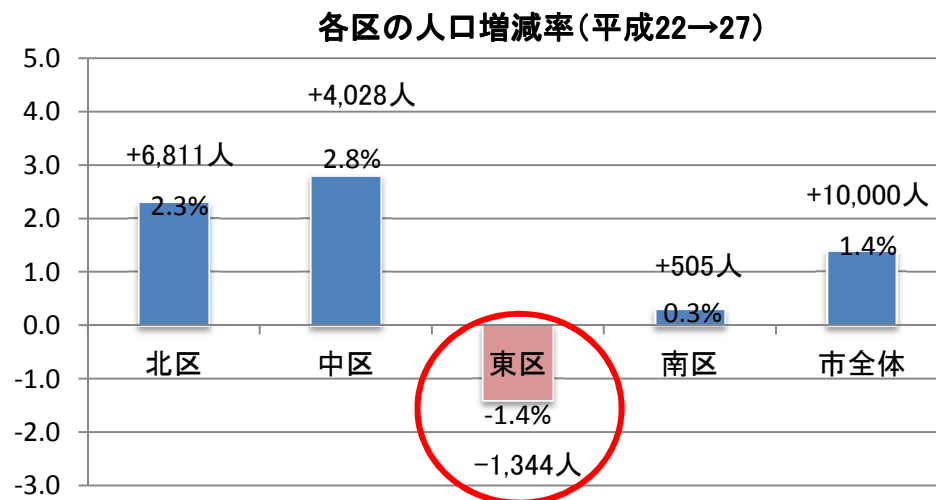
平成28年6月  
岡山市

# 区別 人口と人口密度

- 平成27年国勢調査速報値によると、岡山市の人口は719,584人と、平成22年から1万人(1.4%)増加。
- 人口増加率は中区の2.8%が最も高く、北区の2.3%が続く。東区は-1.4%で、唯一人口減少に突入。
- 人口密度は中区が突出(2,854人/km<sup>2</sup>)。



資料:「平成27年国勢調査速報値」



資料:「平成22年国勢調査」、「平成27年国勢調査速報値」

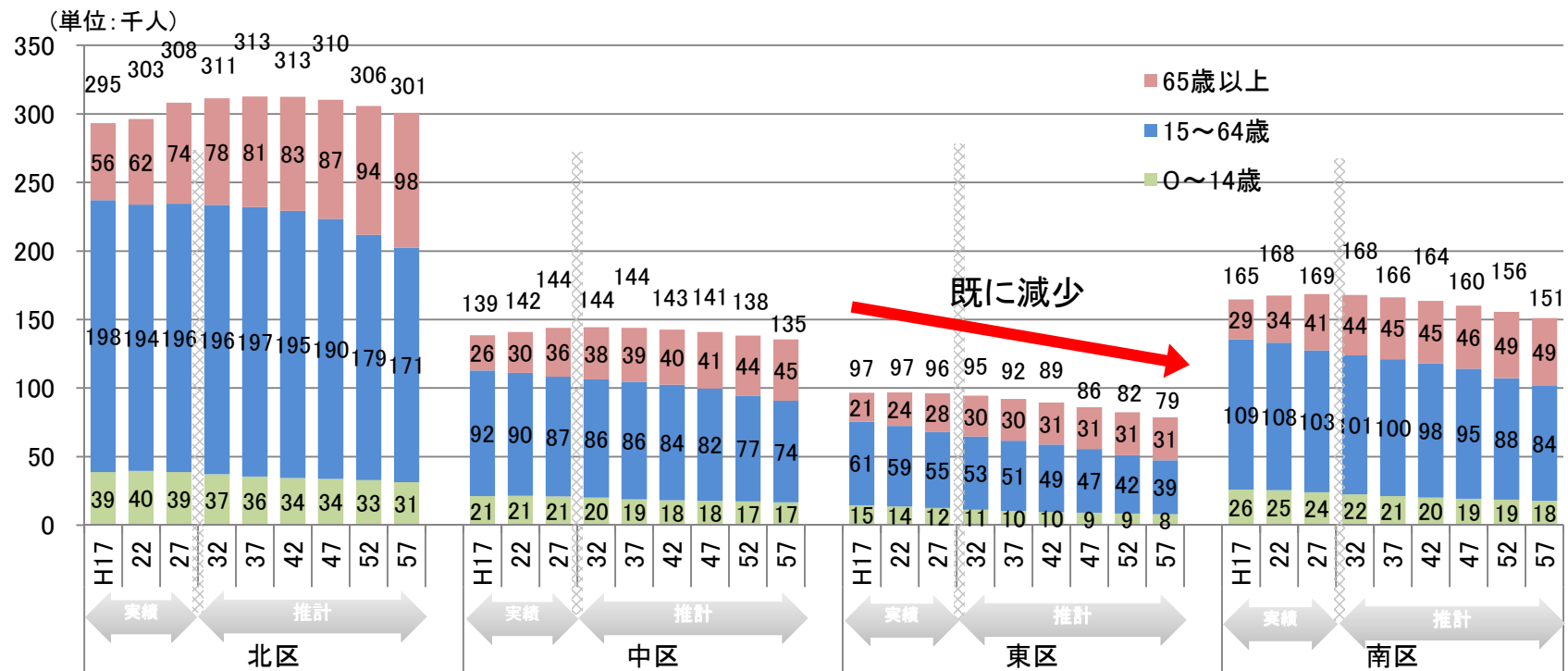
### 各区の面積と人口密度

	北区	中区	東区	南区	市全体
面積 (km <sup>2</sup> )	450.7 (57.1%)	51.25 (6.5%)	160.53 (20.3%)	127.48 (16.1%)	789.96 (100%)
人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	686.7	2,854.0	595.6	1319.6	910.9

資料:「平成27年国勢調査速報値」

# 区別 将来推計人口

- 北区は平成37年頃をピークに、緩やかな人口減少へ。
- 中区は平成32年頃をピークに、緩やかな人口減少へ。
- 東区は平成22年をピークに、既に人口減少に突入。
- 南区は平成27年頃をピークに、緩やかな人口減少へ。



注:平成17年~22年の総人口は年齢不詳を含むので、年齢3区分別人口の計と一致しない。

資料:「国勢調査」、「H26独自推計(※H27国勢調査速報値と異なることに注意)」

# 区内地域別 人口増減

○すでに人口減少局面に突入している郊外部、中山間地域をはじめ、長期的には、市内の多くの地域で人口減少が進む見込み。

図 これまでの人口増減(S60⇒H22)

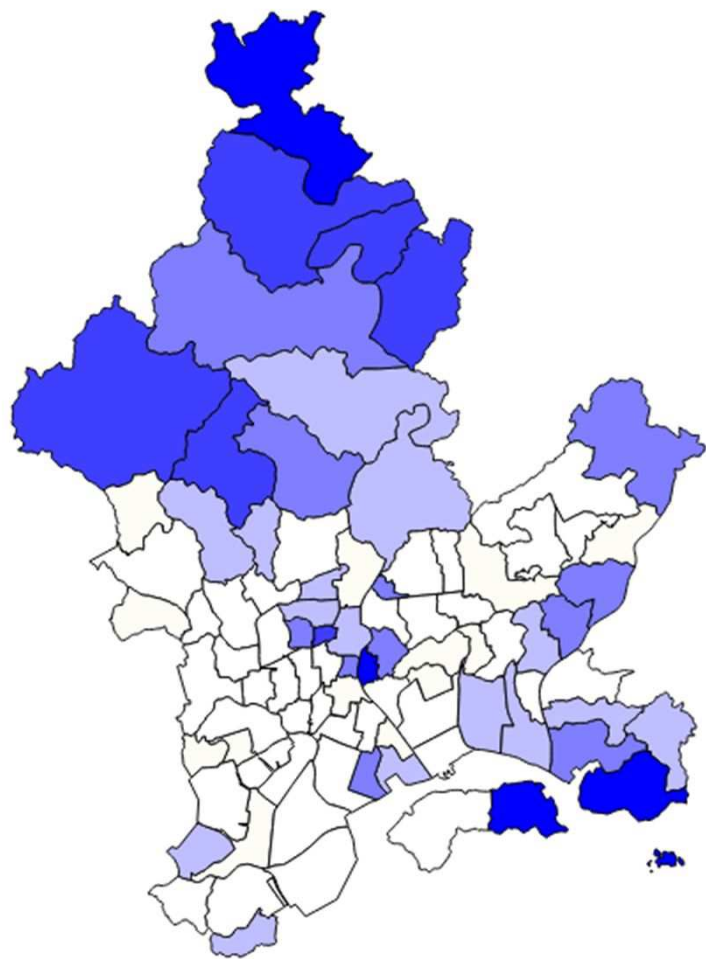
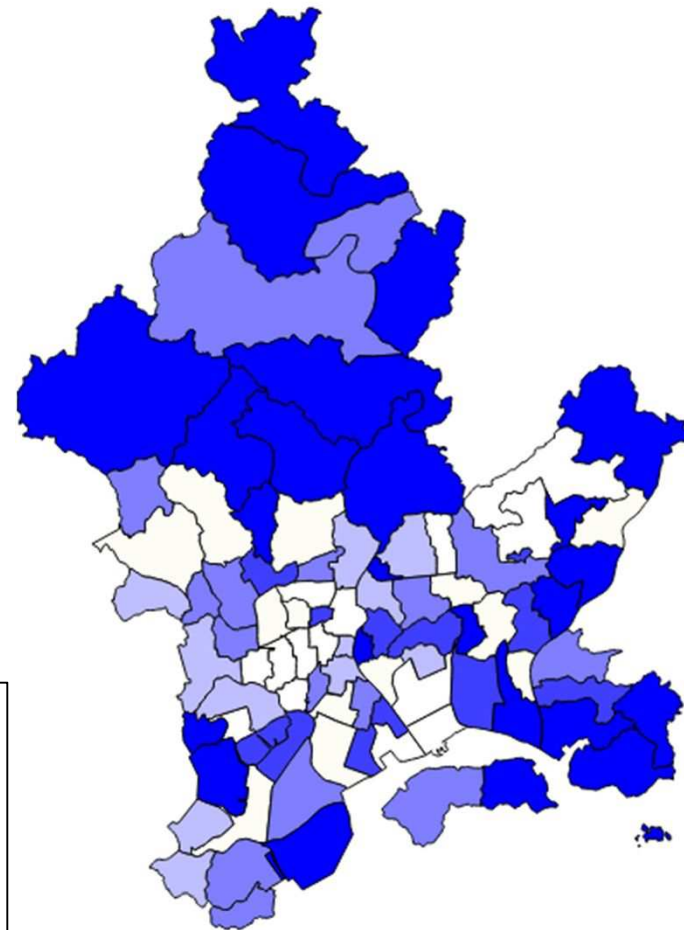


図 これからの人口増減(H22⇒H52)



<凡例>  
人口増減

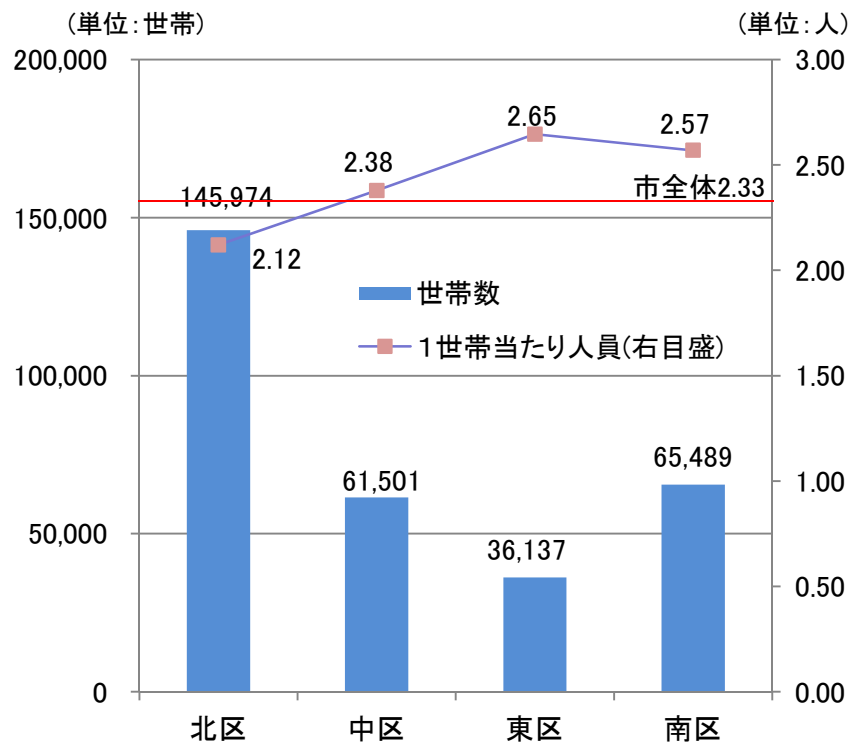
-  30%以上減少
-  20～30%減少
-  10～20%減少
-  0～10%減少
-  横ばい・増加

資料:「H22国勢調査」、「岡山市推計(H26)」

# 区別 世帯数及び家族類型別世帯割合

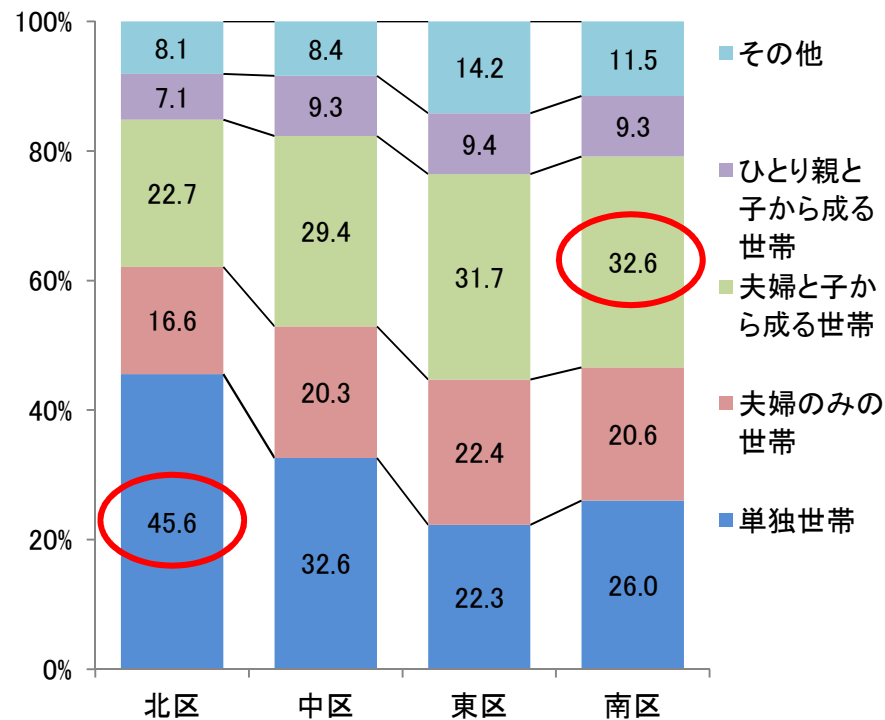
- 1世帯当たり人員は、東区が最も多い。
- 家族類型別世帯割合をみると、北区は単独世帯が半数近くを占め、夫婦と子から成る世帯は4区の中で最少。
- 中区は北区と同様に単独世帯が最多、東区と南区は夫婦と子から成る世帯が最多。

区別の世帯数、一世帯当たり人員



資料:「H27国勢調査速報値」

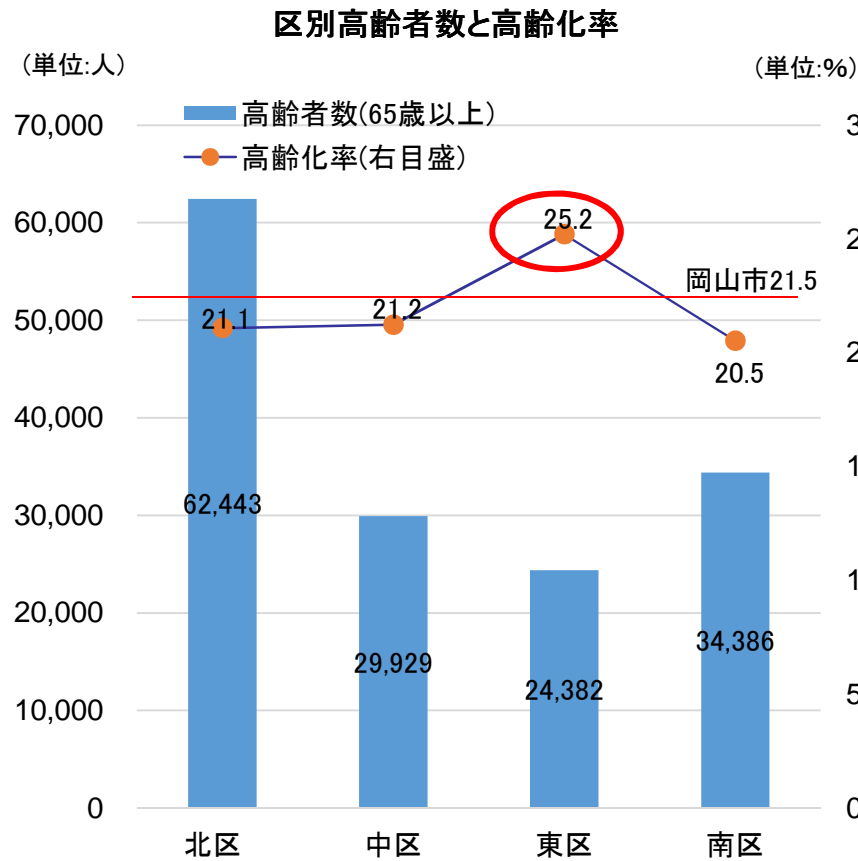
区別の家族類型別世帯割合



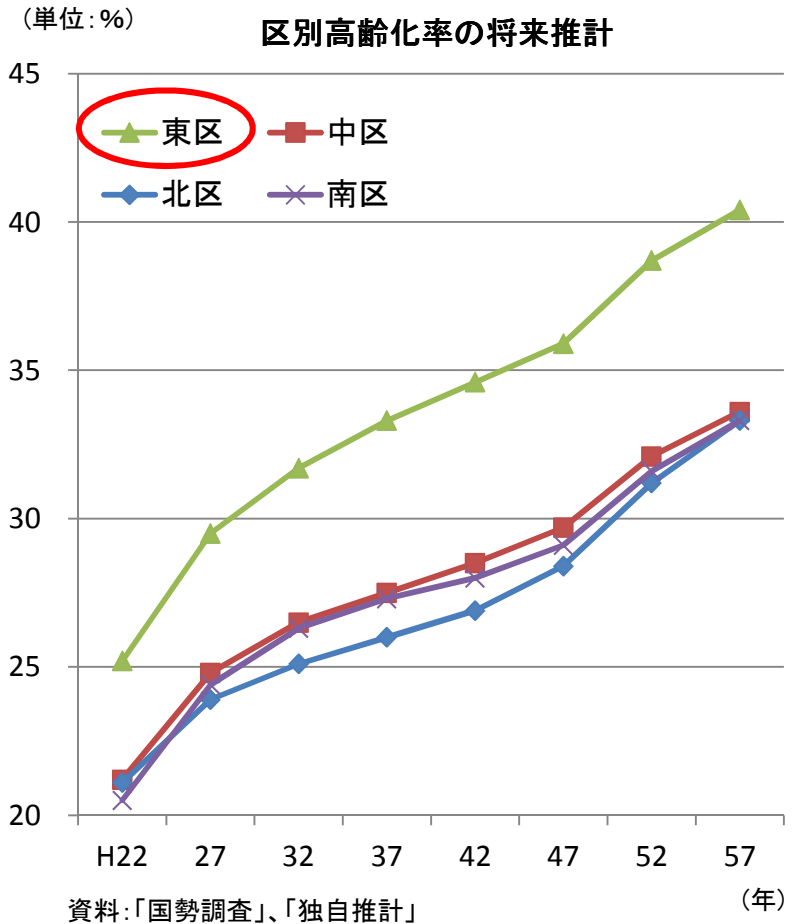
資料:「H22国勢調査」

# 区別 高齢者数と高齢化率

○特に東区の高齢化率(25.2%)が高く、各区ともさらに高齢化が進行する見込み。



資料:「H22国勢調査」



資料:「国勢調査」、「独自推計」

○高齢化は全市的に進んでいくが、特に中山間地域、郊外部でさらなる高齢化率が進行する見込み。

図 現在の高齢化率(H22)

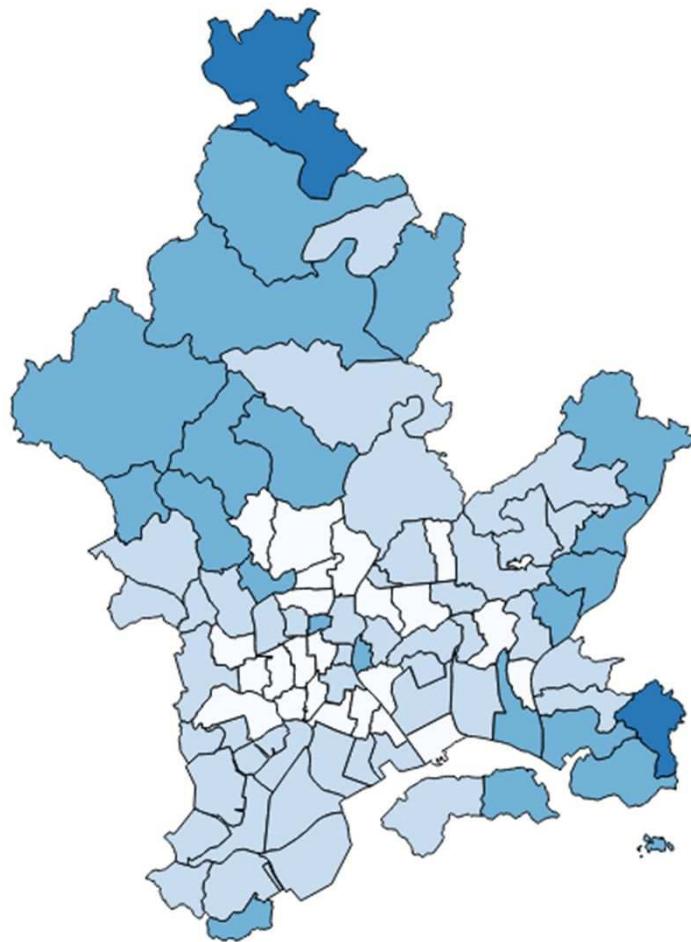
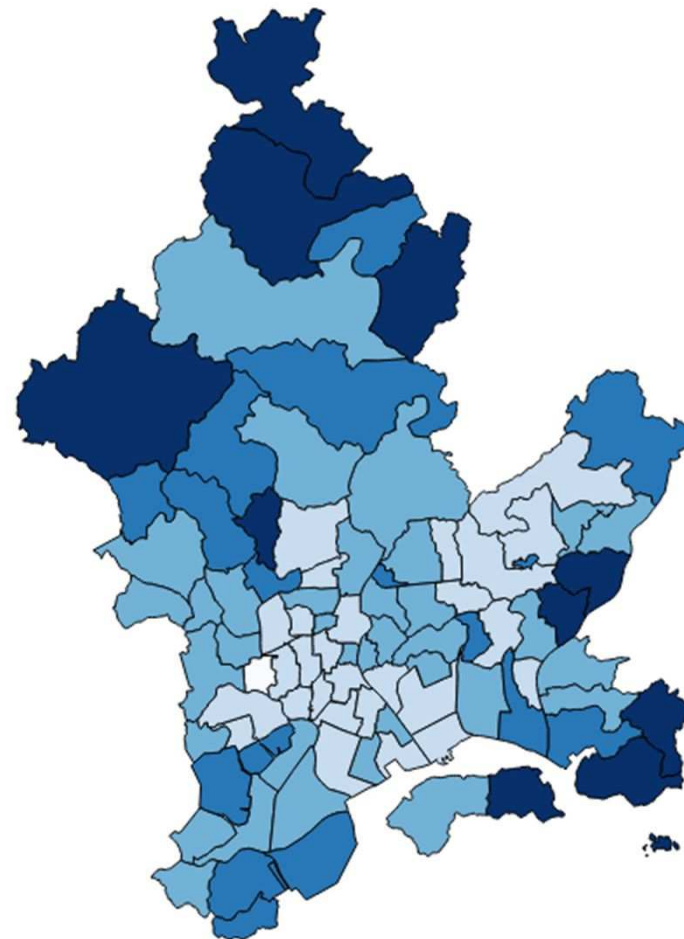


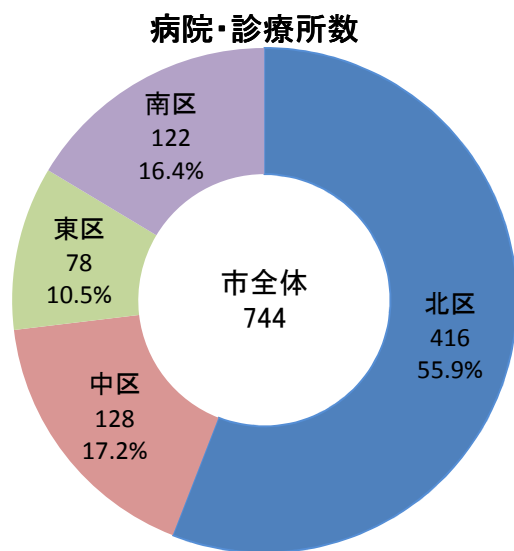
図 30年後の高齢化率(H52)



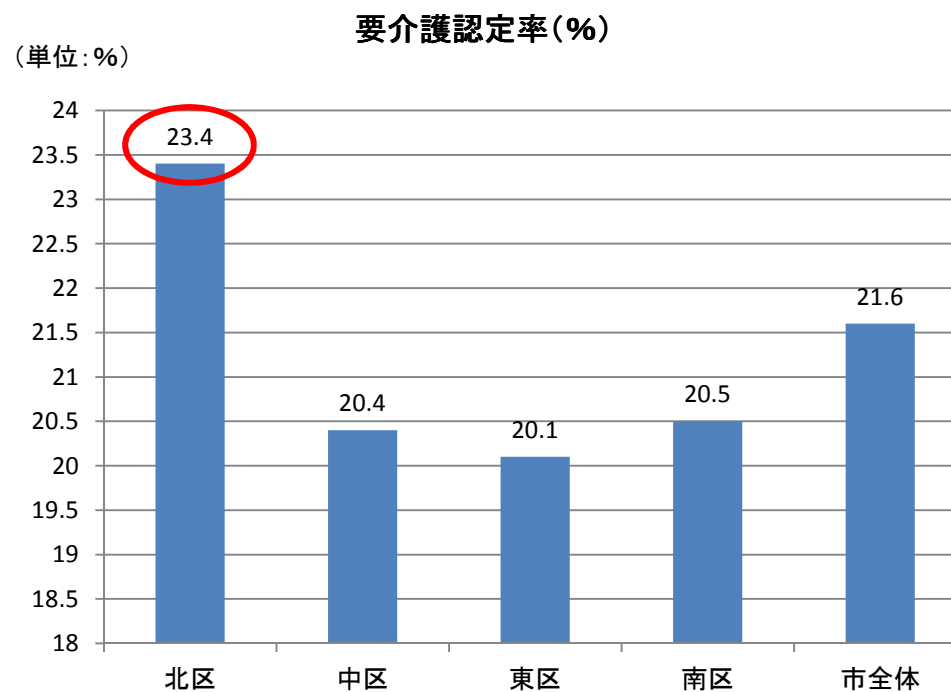
資料:「H22国勢調査」、「H26岡山市推計」

# 区別 病院・診療所数、要介護認定率

- 病院、診療所の数は、北区が最も多く、全体の約56%。
- 北区は要介護認定率が23.4%で最も高い。



資料:「H26.10月、医療施設調査」

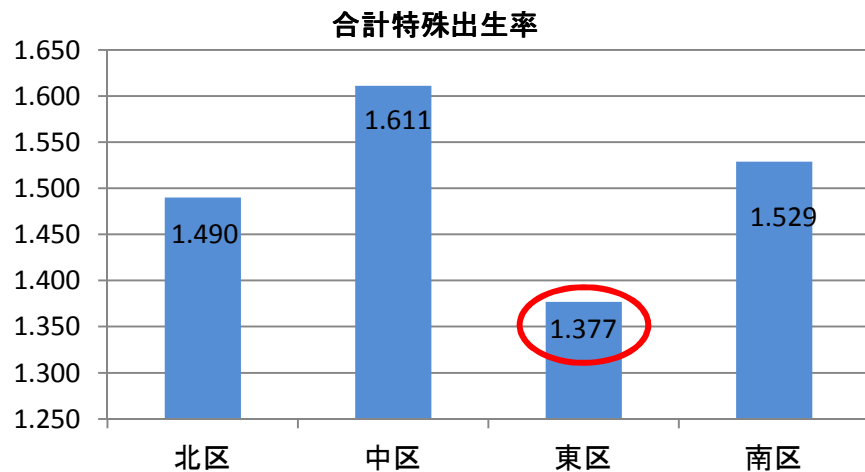
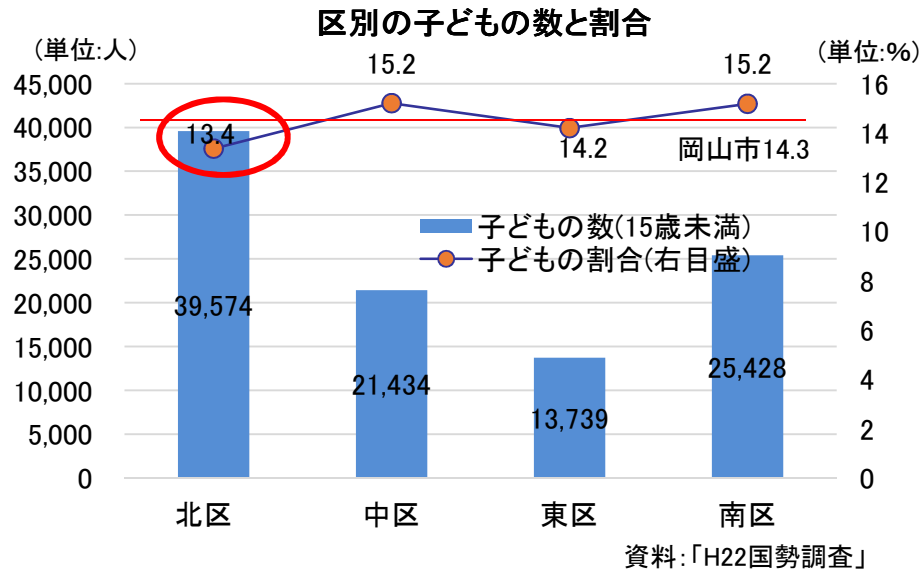


資料:「H27.9月末、岡山市調べ」

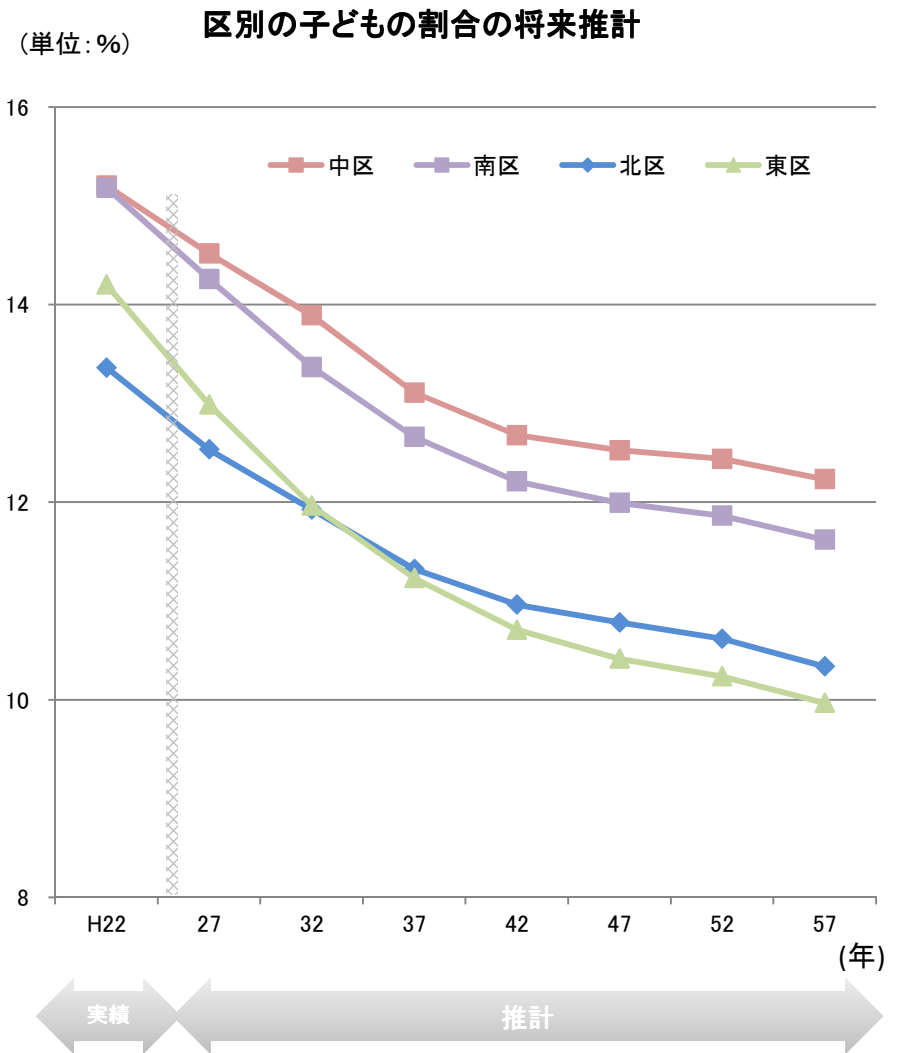


# 区別 子どもの数と割合

○子どもの数の割合は、中区、南区が高く(15.2%)、北区が最も低い(13.4%)。



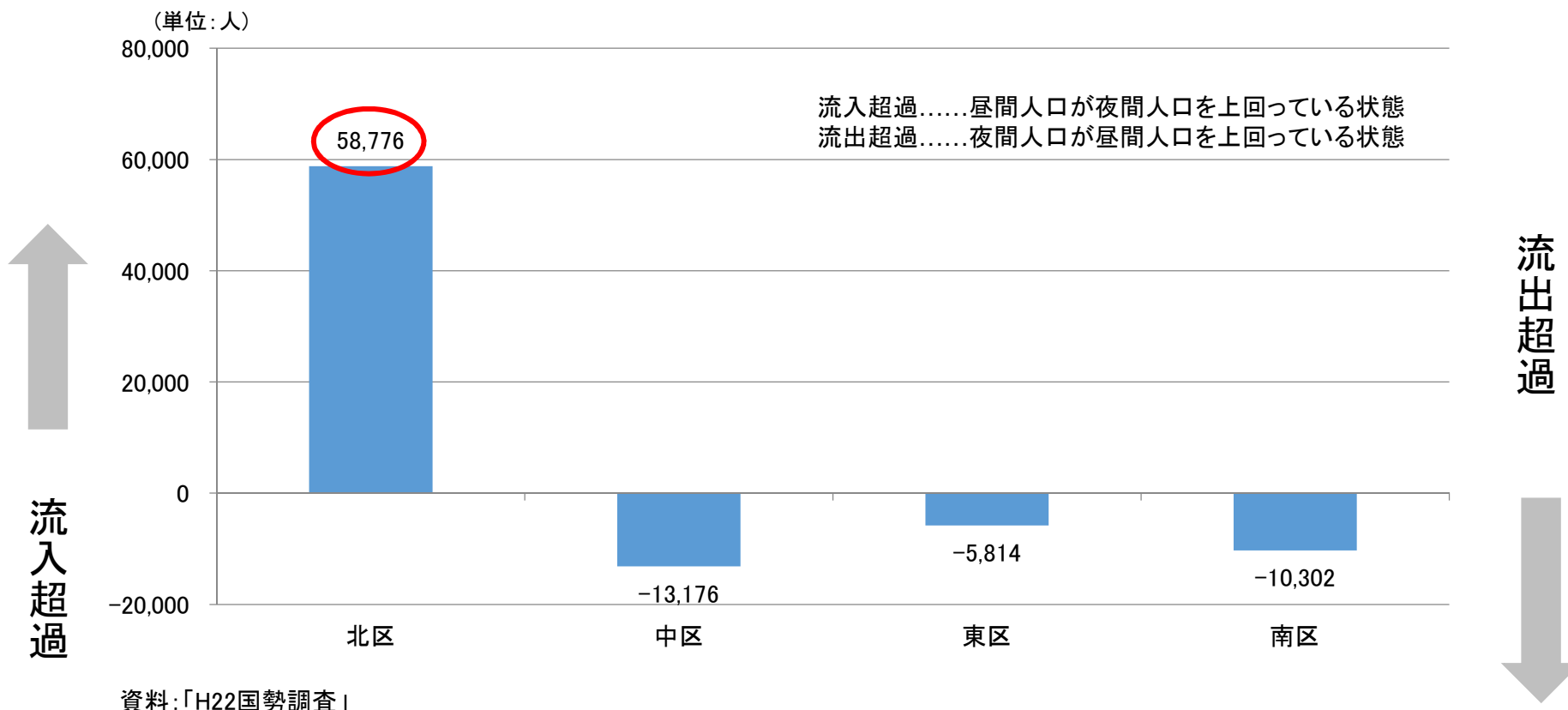
資料:「H27岡山市保健衛生年報」  
(H25年数値)岡山市の合計特殊出生率と算出方法が異なることに注意



# 区別 昼夜間人口①

○北区だけが昼間人口が夜間人口を上回る流入超過。

### 区別昼夜間人口の差



# 区別 昼夜間人口②

- 北区は県内のすべての自治体から流入超過。
- 中区と東区は、赤磐市が最大の流入超過先。

## 区別昼夜間人口の差の内訳

(単位:人)

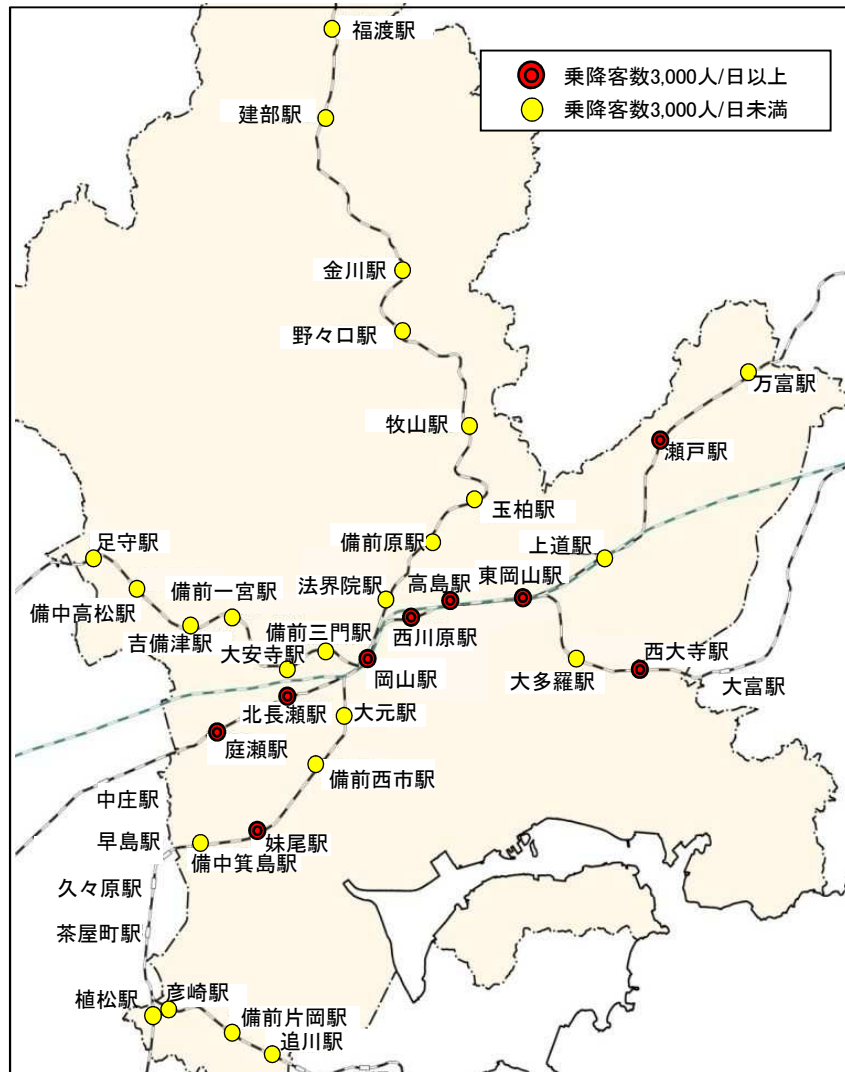
	北区		中区		東区		南区	
流入超過	中区	14,114	赤磐市	596	赤磐市	1,133	中区	653
	倉敷市	10,670	東区	491	和気町	159	東区	564
	南区	10,607	倉敷市	213	早島町	20	赤磐市	415
	東区	5,037	総社市	197	美咲町	7	総社市	229
	赤磐市	3,502	瀬戸内市	158	里庄町	4	瀬戸内市	196
	総社市	2,102	玉野市	152	矢掛町	4	浅口市	64
	玉野市	1,975	浅口市	57	井原市	2	早島町	37
	瀬戸内市	1,778	和気町	48	総社市	1	和気町	30
	備前市	965	笠岡市	37	浅口市	1	美咲町	15
	浅口市	878	早島町	26	鏡野町	1	矢掛町	14
					西粟倉村	1		
	流出超過			北区	-14,114	北区	-5,037	北区
			南区	-653	南区	-564	倉敷市	-991
			備前市	-184	中区	-491	玉野市	-368
			吉備中央町	-49	備前市	-312	高梁市	-21
			高梁市	-43	倉敷市	-217	津山市	-5

資料:「H22国勢調査」

# 岡山市のJR駅別利用者数

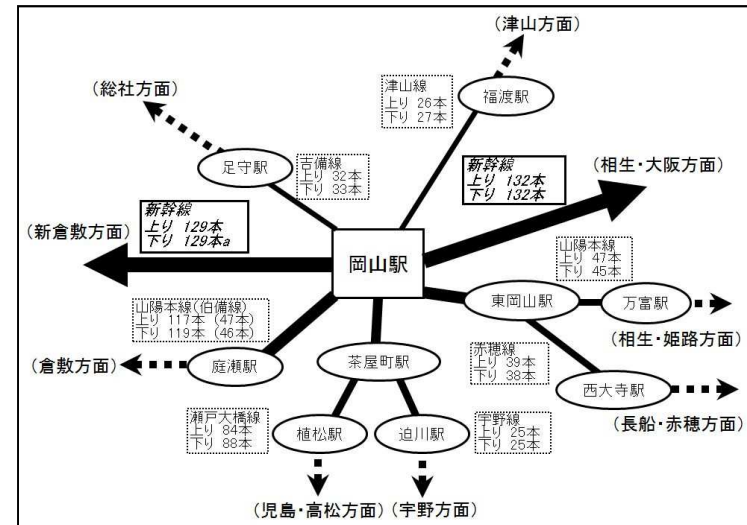
- 岡山駅を中心に山陽新幹線をはじめ在来線7線が運行しており、乗降客数は岡山駅が12.5万人/日。
- 岡山市内の乗降客数3,000人/日以上のは、9駅。

JR駅位置図



資料:「JR提供」

鉄道網と各路線の運航頻度(平成26年3月時点)

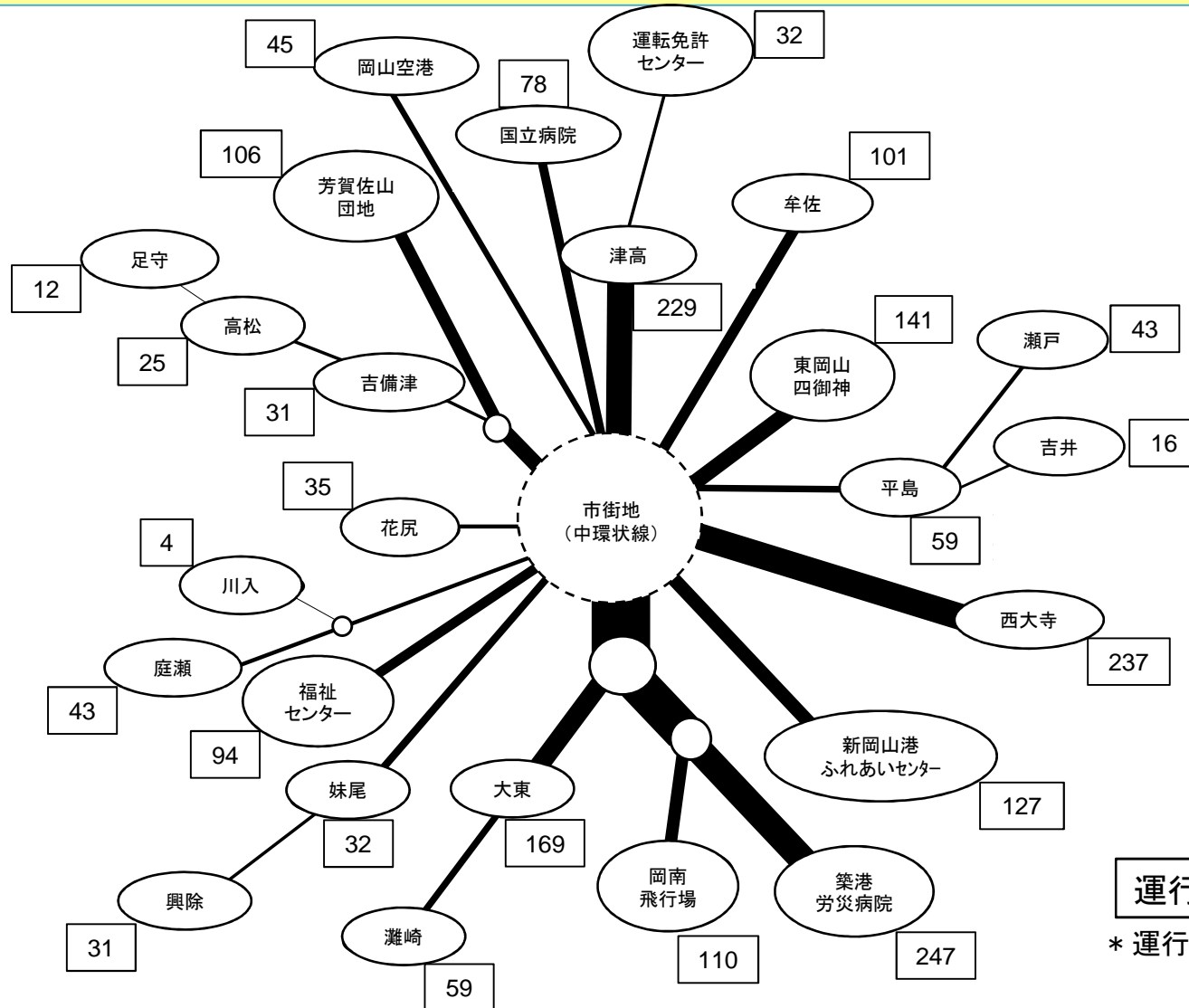


各駅平均乗降客数(人/日)(平成25年度)

順位	駅名	計	順位	駅名	計
1	岡山	124,555	17	金川	1,734
2	庭瀬	7,766	18	備前一宮	1,683
3	北長瀬	6,822	19	万富	1,344
4	東岡山	6,752	20	足守	1,153
5	西大寺	6,736	21	吉備津	1,120
6	妹尾	6,018	22	彦崎	589
7	西川原	5,939	23	大安寺	573
8	高島	5,880	24	迫川	508
9	瀬戸	5,143	25	備前片岡	493
10	大元	2,850	26	福渡	479
11	上道	2,823	27	建部	420
12	大多羅	2,816	28	植松	290
13	備中高松	2,654	29	備中箕島	273
14	備前西市	2,534	30	野々口	223
15	法界院	2,178	31	玉柏	179
16	備前三門	1,928	32	備前原	172
			33	牧山	84

# 岡山市内の主な路線バスの方面別運行本数

○岡山市内の主な路線バスの方面別運行本数をみると、「西大寺」、「築港、労災病院」、「津高」方面が特に多く、いずれも200本以上。



運行本数 (H26)

\* 運行本数は、往路・復路合計

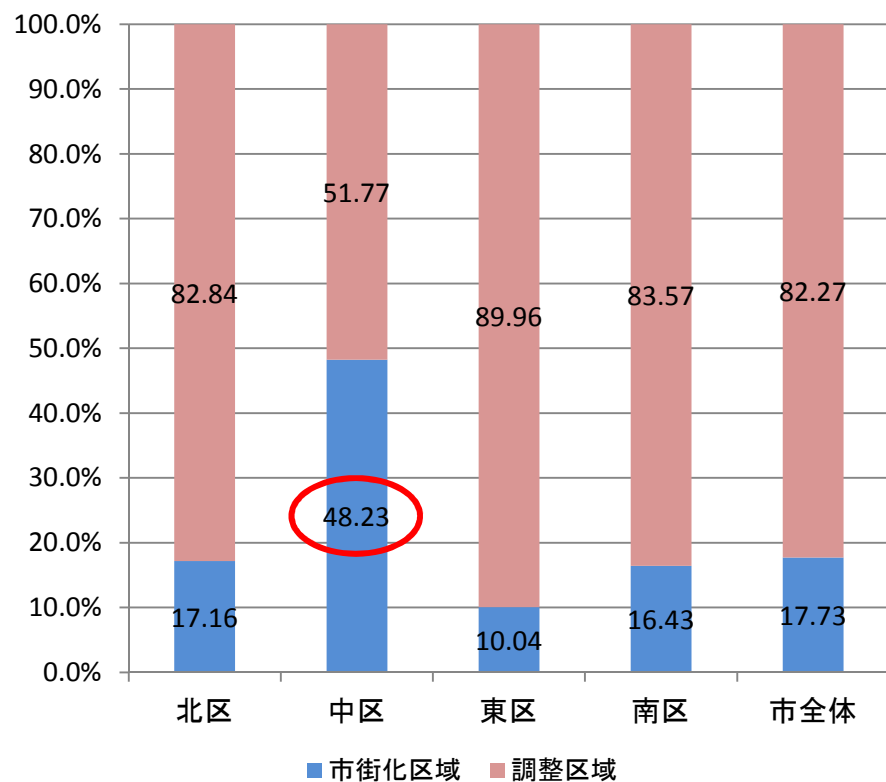
岡山市内の主な路線バスの方面別運行本数 (平日)

資料:「各バス会社時刻表」

# 区別 市街化区域の割合、下水道普及率

- 市街化区域面積の占める割合が一番高いのは中区で、区域の約半分を占める。
- 下水道普及率は、南区が最も高く、東区が最も低い。

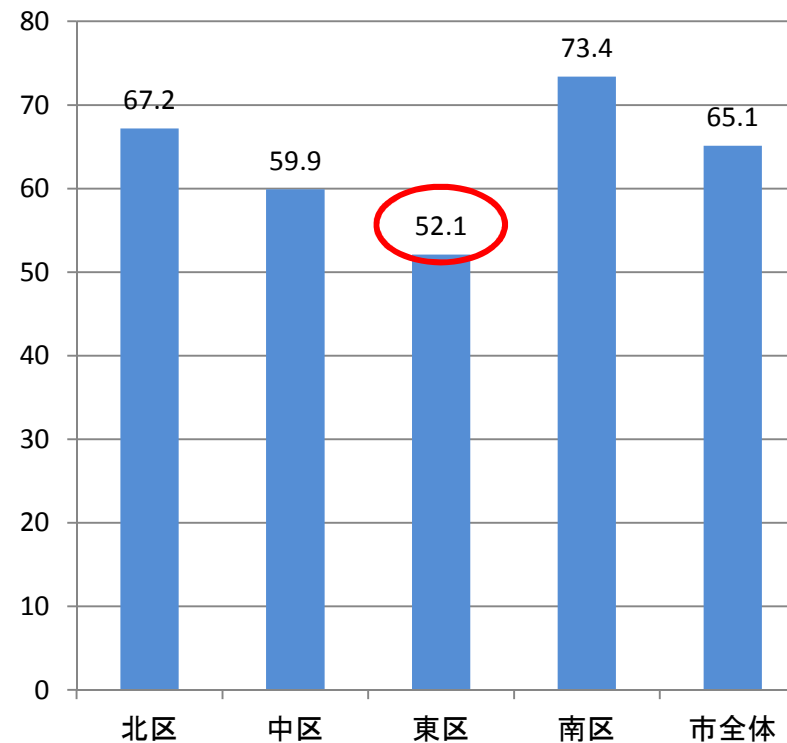
市街化区域と市街化調整区域の割合



資料:「H24.3月末、岡山市調べ」

下水道普及率

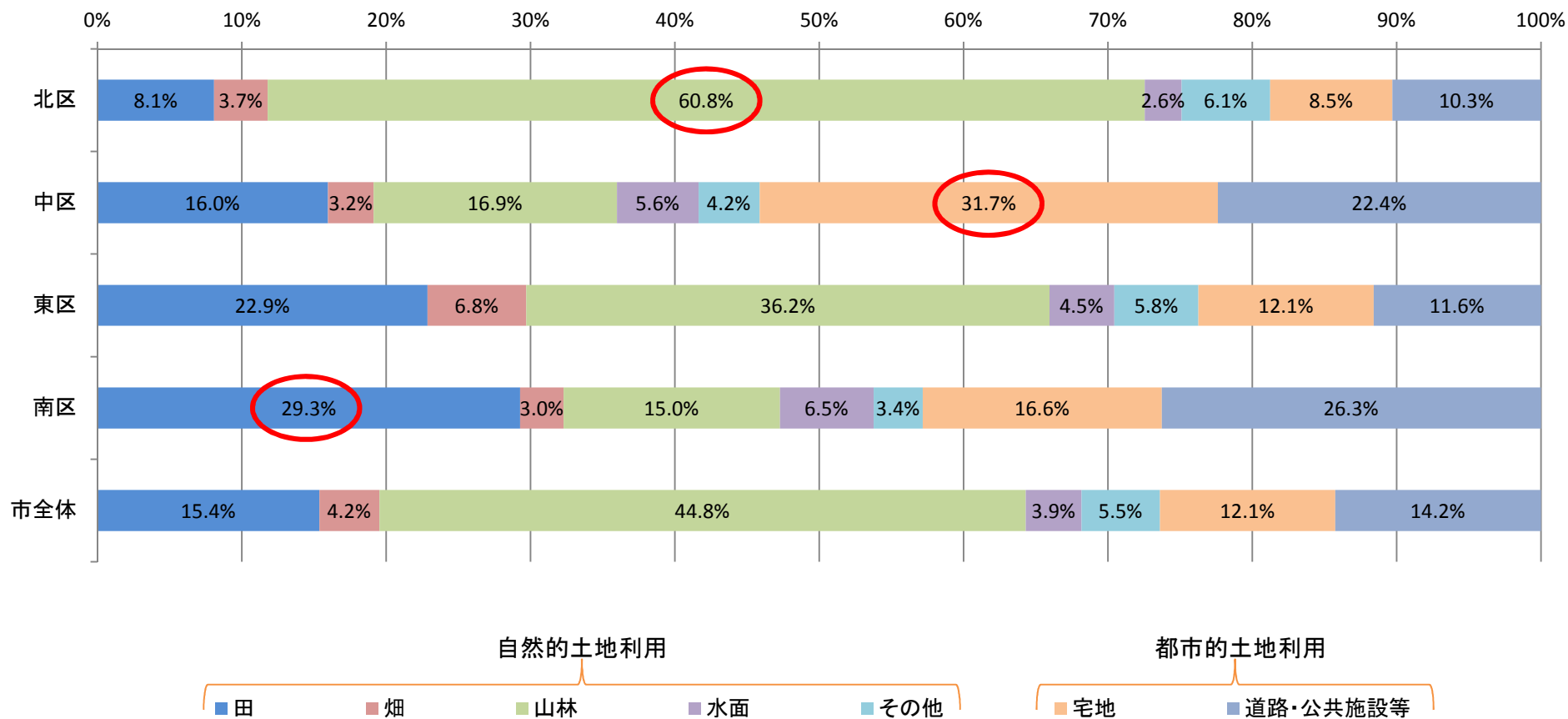
(単位: %)



資料:「H27.3月末、岡山市調べ」

# 区別 土地利用状況

- 北区は、山林の占める割合が高く、自然的土地利用が8割を超える。
- 中区は、宅地の占める割合が高く、都市的都市利用が5割を超える。
- 東区は、田、畑、山林の占める割合が高い。
- 南区は、田の占める割合が高い。



資料:「H24.3月末、岡山市調べ」

# 区別 産業別就業者数

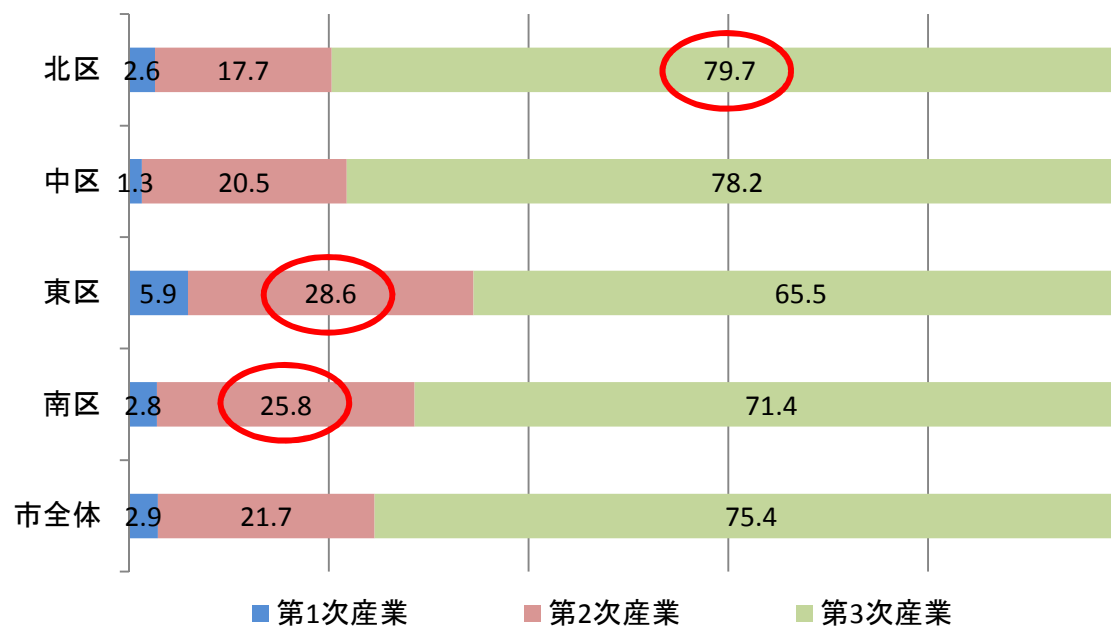
- 北区、中区は、第3次産業の就業者数が多い。
- 東区は、第1次、2次産業の就業者数が多い。
- 南区は、第2次産業の就業者数が多い。

各区の産業別就業者数(人)

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
北区	3,450	23,125	104,140
中区	813	12,511	47,794
東区	2,573	12,404	28,363
南区	2,089	19,602	54,242
市全体	8,925	67,642	234,539

※常住地による産業別の従業者数

各区の産業別就業者の割合(%)

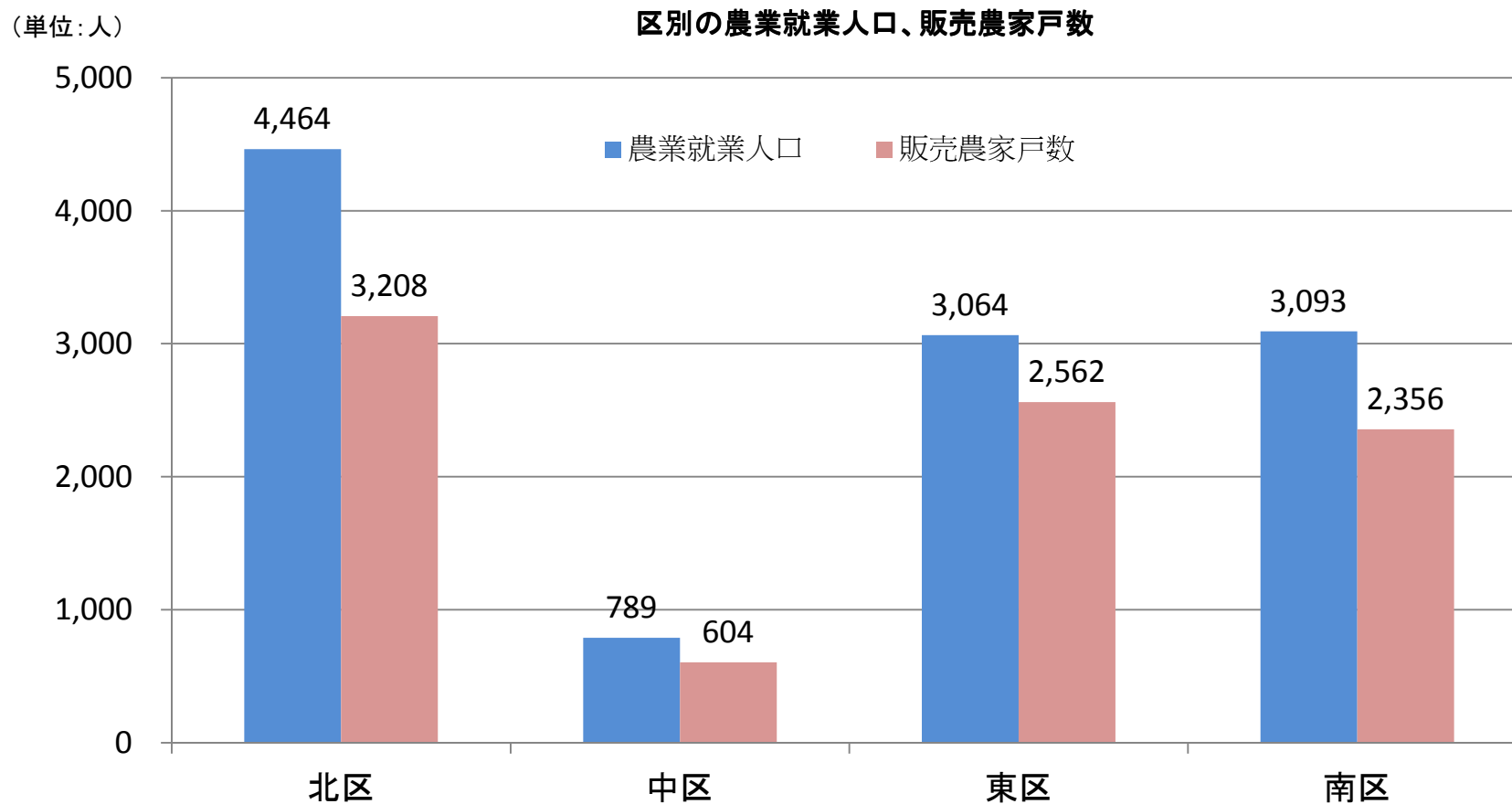


資料:「H22国勢調査」



# 区別 農業人口、農家戸数

○農業就業人口、販売農家戸数ともに、北区が最も多く、中区が最も少ない。



資料:「2010世界農林業センサス」

# 区別 特産品、岡山市の主要農作物



○岡山市の作付面積は水稲が中心で、麦類、果樹、野菜がこれに続く。各区には特色ある特産品がみられる。

## 各区の主要な特産品

### 北区

白桃  
マスカット  
温室メロン  
黄ニラ  
山の芋

### 中区

沢田の柿  
雄町米

### 東区

ニューピオーネ  
あたご梨  
いちご  
太秋柿  
桃  
黄しじみ  
しらうお  
さわら  
のり

### 南区

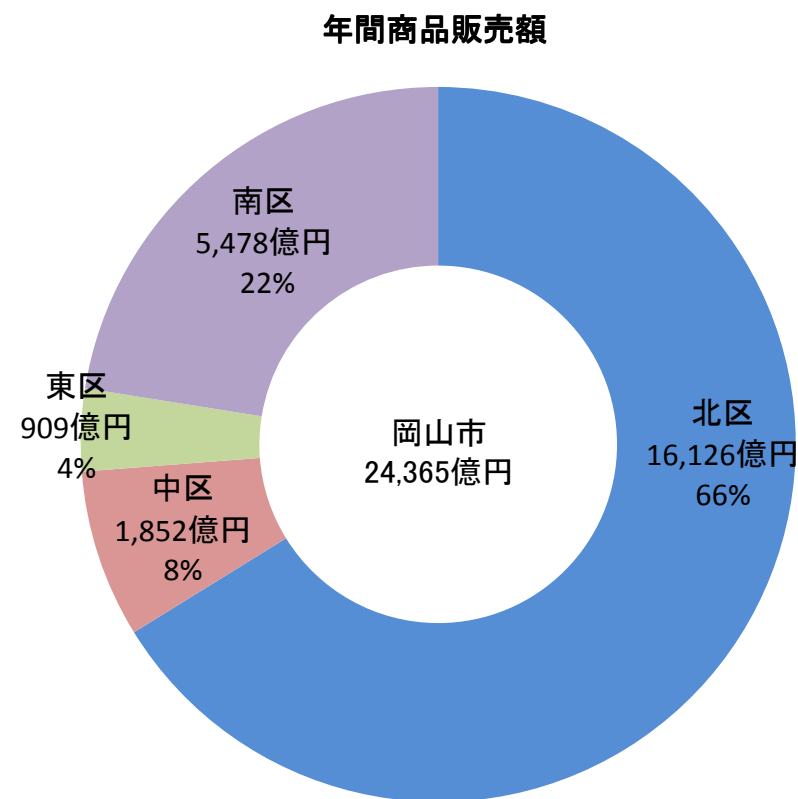
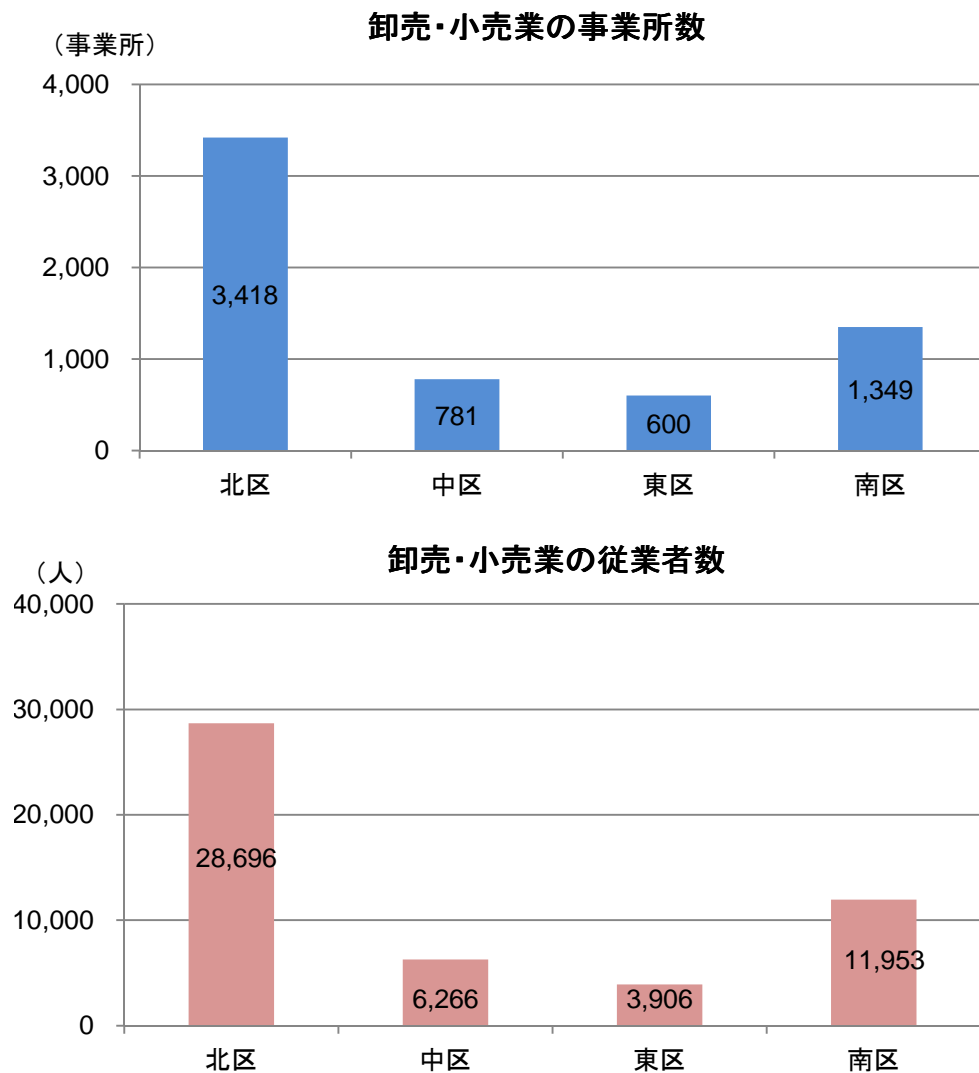
米・麦  
レタス  
千両なす  
海苔

## 岡山市主要農作物の作付面積(単位:ha)

作物名	作付面積	
水稲	8,080	
麦類	1,962	小麦 475
		二条大麦 1,480
		裸麦 7
果樹	520	ぶどう 255
		もも 265
野菜	229	だいこん 10
		にんじん 10
		れんこん 14
		やまのいも 2
		はくさい 11
		キャベツ 24
		ほうれんそう 20
		レタス 37
		ねぎ 44
		たまねぎ 20
		きゅうり 1
		かぼちゃ 10
		なす 26
トマト 1		
メロン 2		
大豆	164	

資料:「岡山農林水産統計年報(野菜・果樹はJA岡山、JA岡山東調べ)」  
※水稲・麦類・大豆はH27、他はH26の値

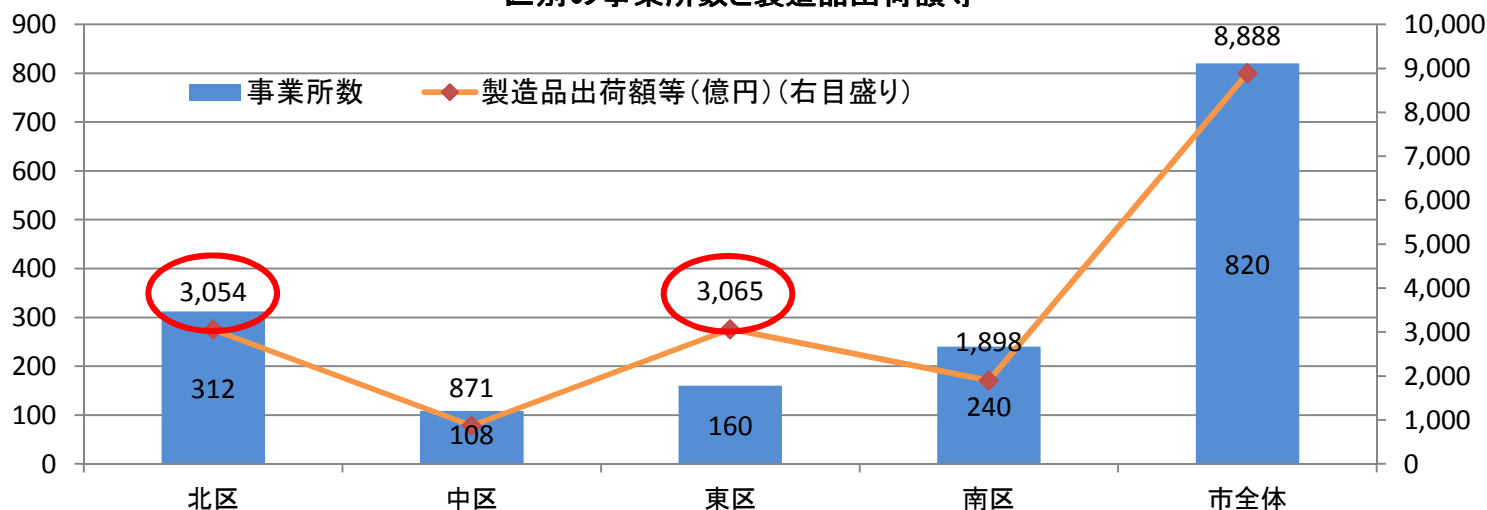
- 卸売、小売業の事業所、従業者数ともに北区が最も多く、南区が続く。
- 年間商品販売額も、北区が最も多く、岡山市全体の7割弱を占める。



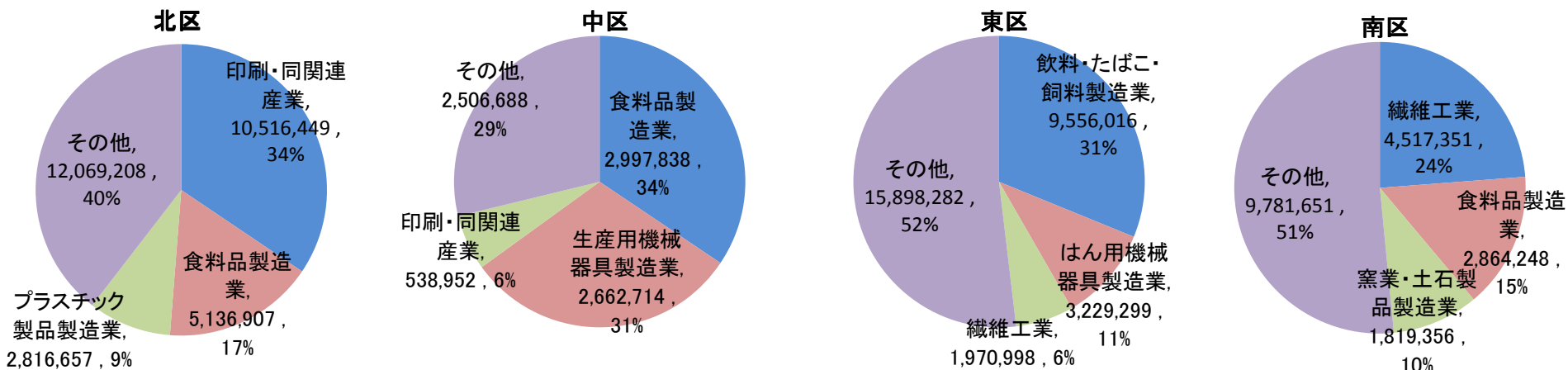
資料:「平成24年経済センサス」

- 事業所数は北区が最も多く、南区が続く。
- 製造品出荷額等は、東区が最も多い。
- 北区は印刷・同関連産業、中区は食料品製造業、東区は飲料・たばこ・飼料製造業、南区は繊維工業が最も多い。

### 区別の事業所数と製造品出荷額等



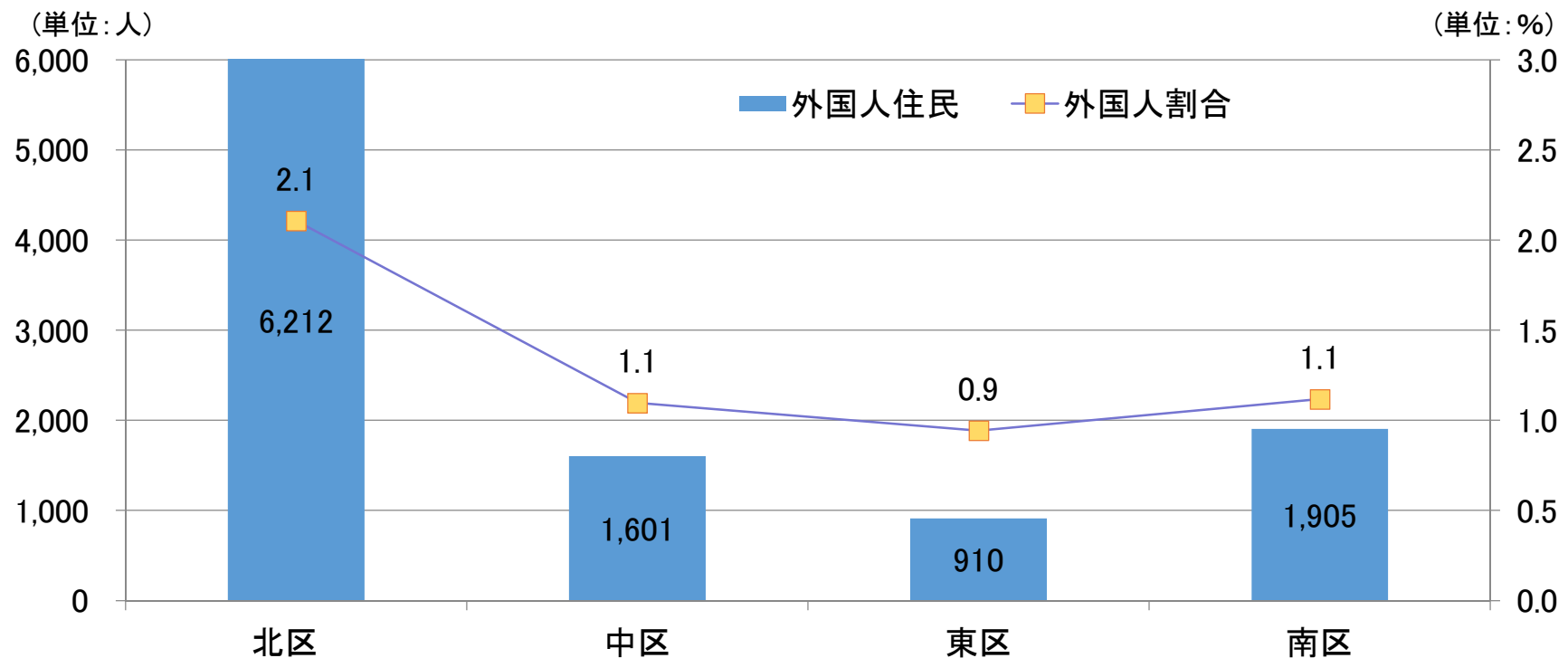
### 区別製造品出荷額等の内訳



資料:「平成25年工業統計調査」

# 区別 外国人人口

○外国人人口は、北区が最も多い。



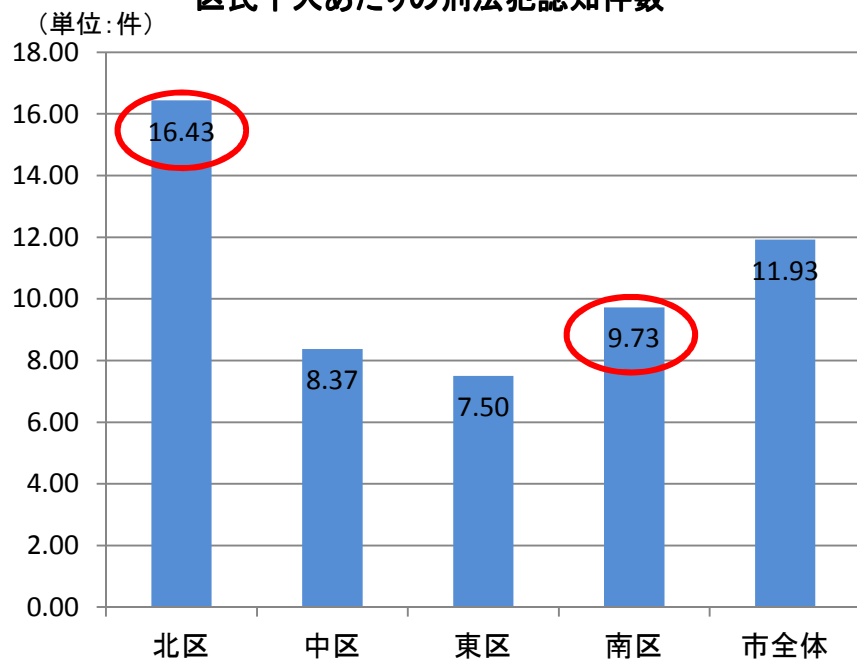
資料:「H28.4月、住民基本台帳」

# 区別 安全・安心(刑法犯、交通事故)



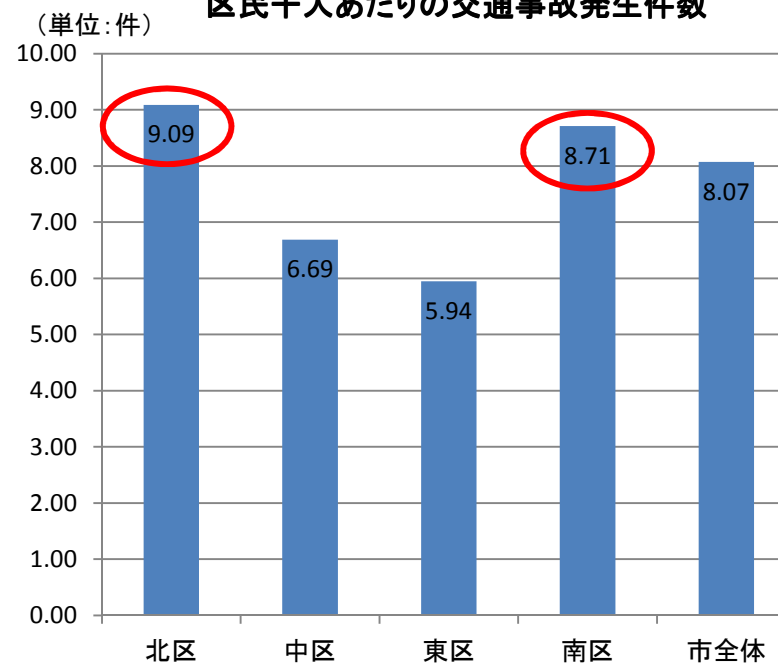
- 区民千人あたりの刑法犯認知件数は、北区が最も多く、南区、中区、東区と続く。
- 区民千人あたりの交通事故発生件数は、北区、南区が多い。
- 東区は、刑法犯認知件数、交通事故発生件数ともに最も少ない。

### 区民千人あたりの刑法犯認知件数



資料:「H26岡山県警調べ」

### 区民千人あたりの交通事故発生件数

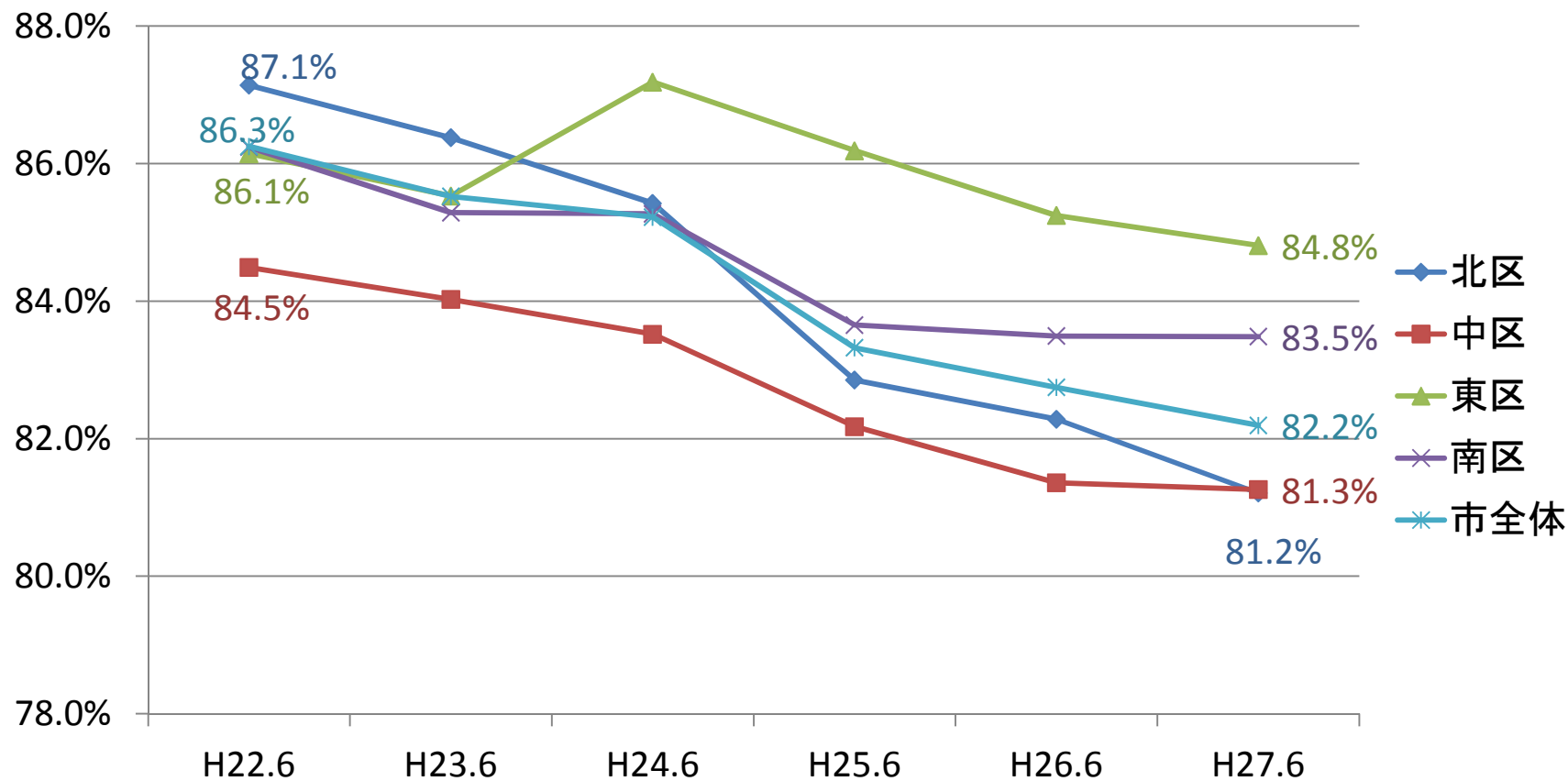


資料:「H26岡山県警調べ」

# 区別 町内会加入率

- 4区とも町内会加入率は減少傾向にある。
- 4区の中では東区が最も加入率が高い。

### 町内会加入率の推移

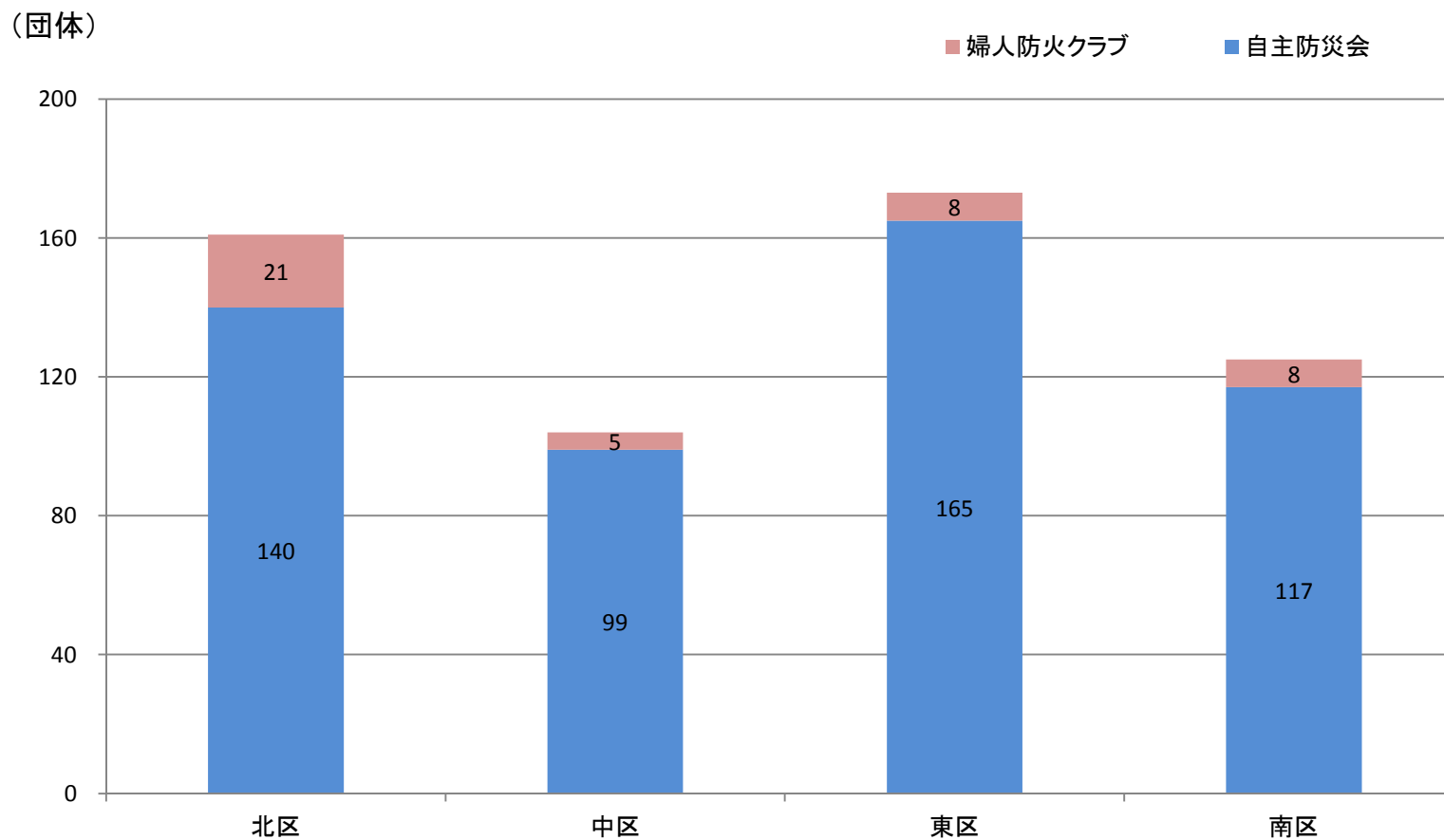


※H22,23年については、建部・瀬戸支所管内は除く

資料:「H27.6月、岡山市調べ」

○自主防災会の数は東区が、婦人防火クラブの数は北区が最も多い。

### 自主防災会及び婦人防火クラブの数



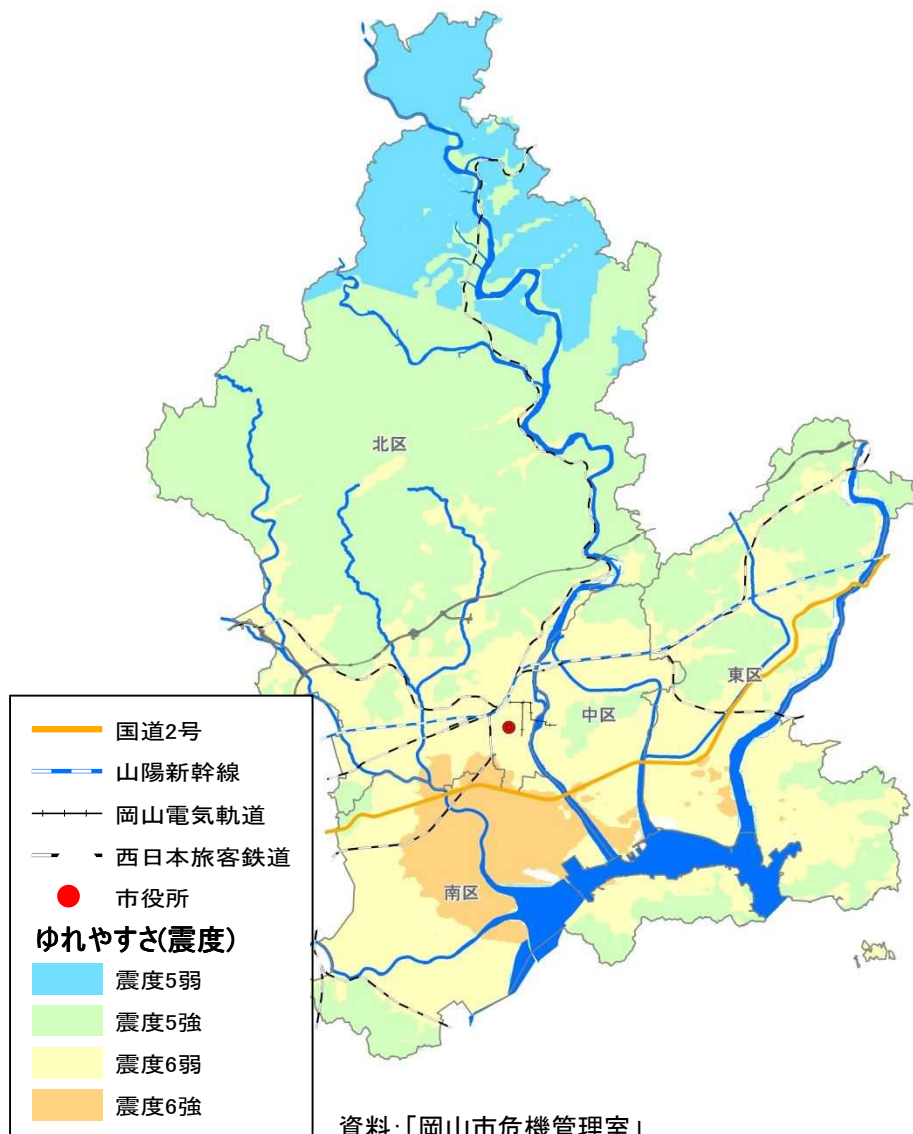
資料:「H28.4月、岡山市調べ」



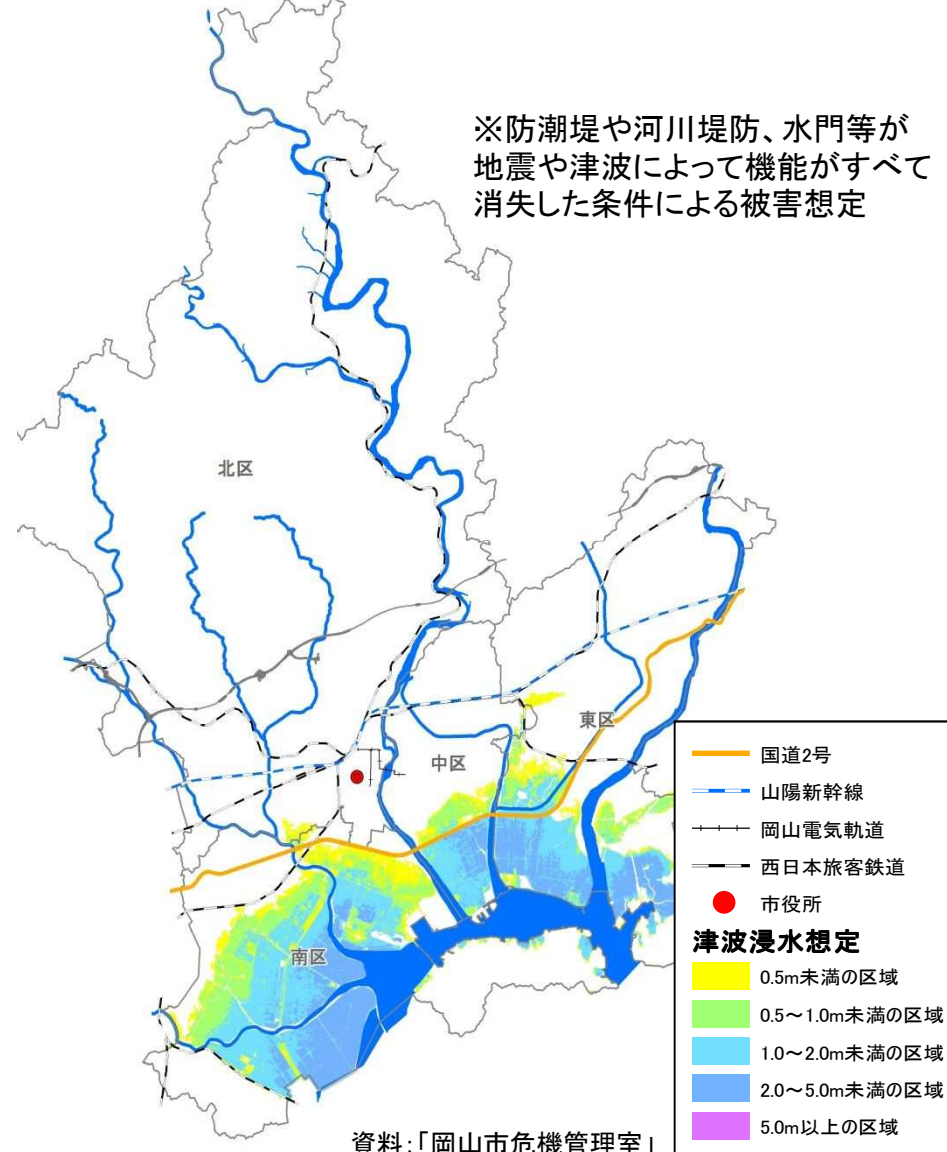
# 南海トラフ巨大地震による岡山市の被害想定

○地震は最大震度6強を、津波は南区小串で最大2.6m(海拔高)を想定している。

【震度分布図】

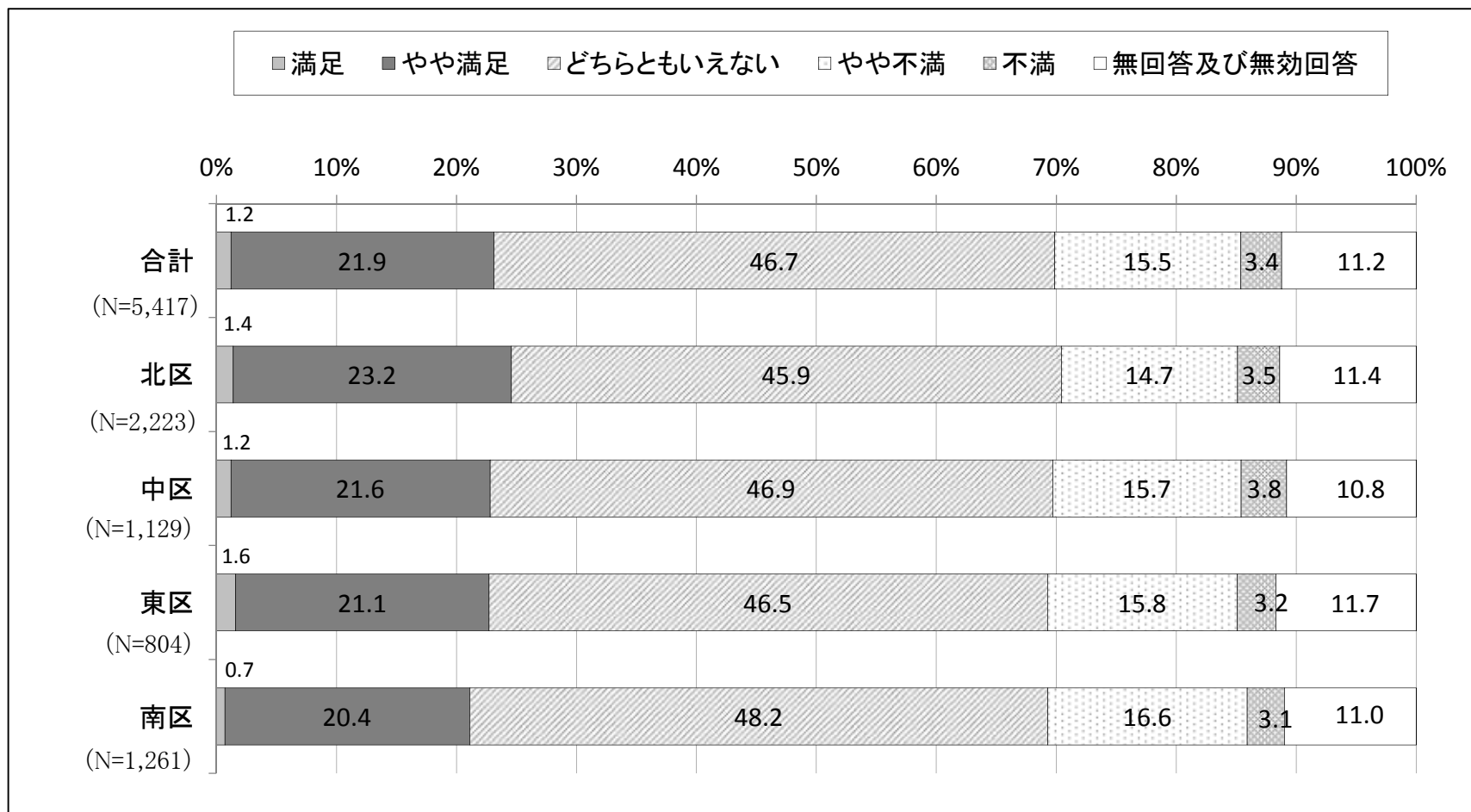


【津波分布図】



# 区別 行政施策全般についての満足度

○「満足」「やや満足」と回答した人の割合は、北区が市全体より高く、また、「不満」「やや不満」と回答した人の割合は南区がやや高い。



資料:「H27市民意識調査結果」

# 区別 個別の行政施策に対する重要度・満足度(北区)

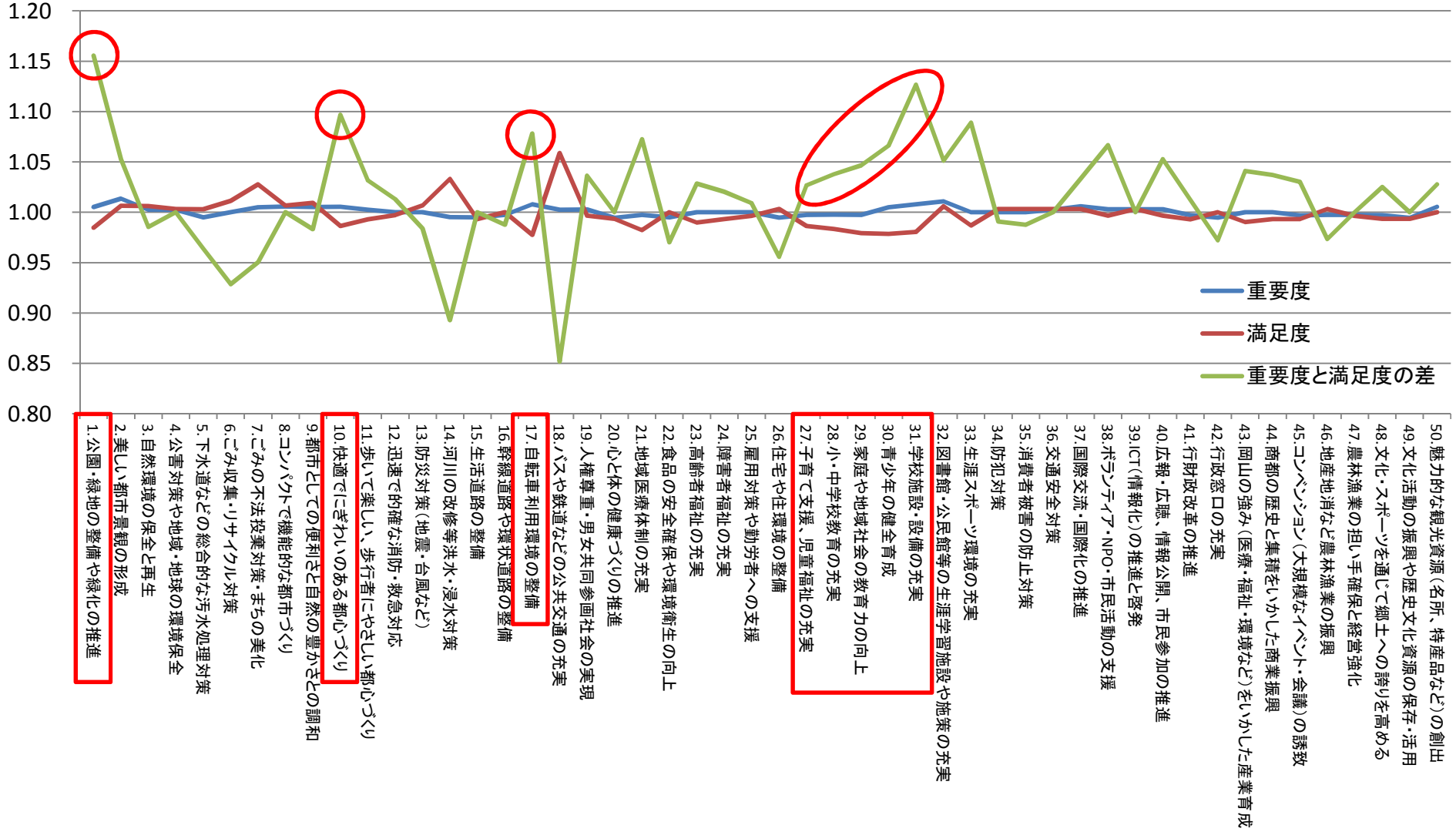
岡山市平均を1とした場合の北区の重要度、満足度、重要度と満足度の差



資料:「H27市民意識調査結果から作成」

# 区別 個別の行政施策に対する重要度・満足度(中区)

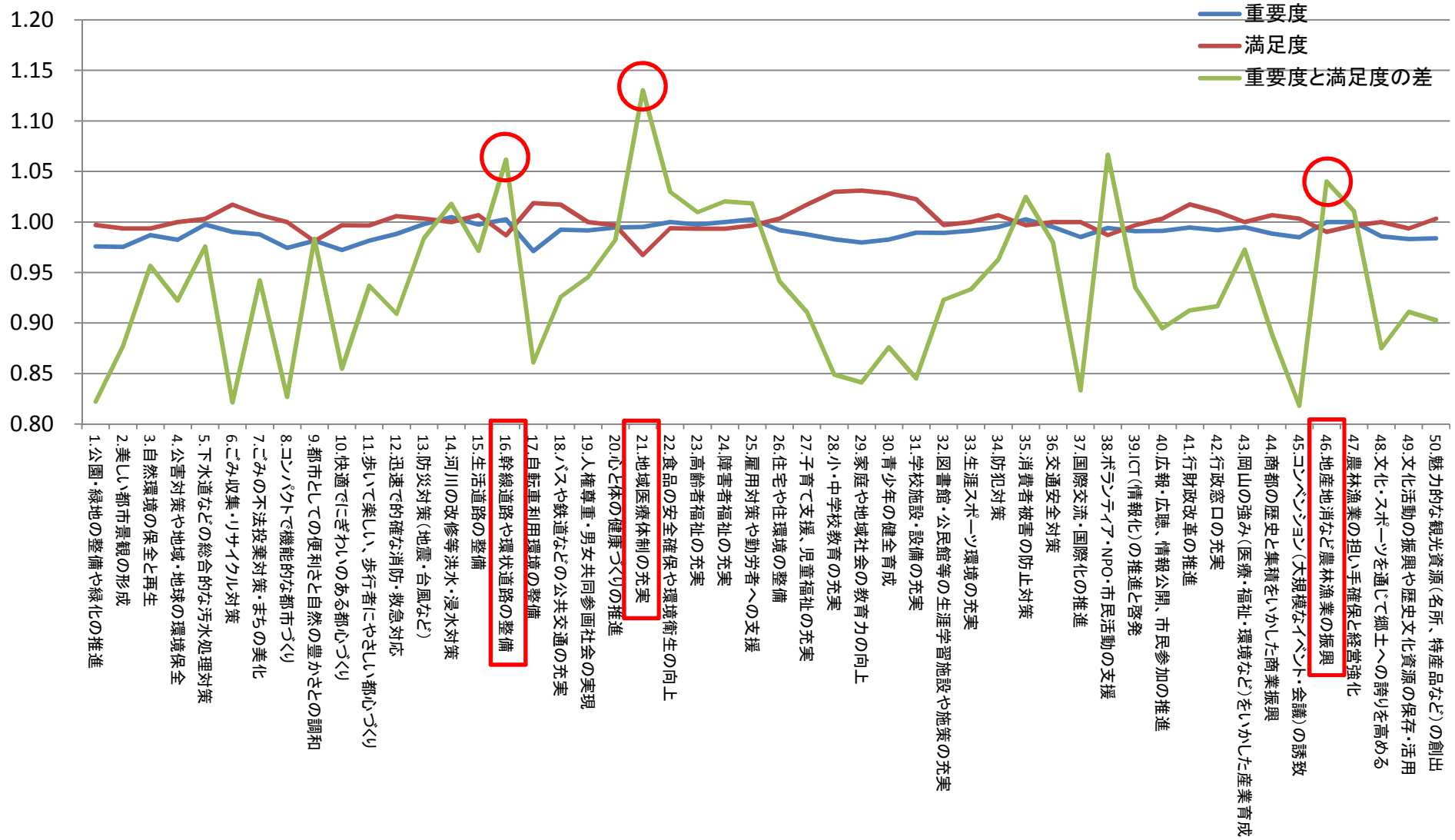
岡山市平均を1とした場合の中区の重要度、満足度、重要度と満足度の差



資料:「H27市民意識調査結果から作成」

# 区別 個別の行政施策に対する重要度・満足度(東区)

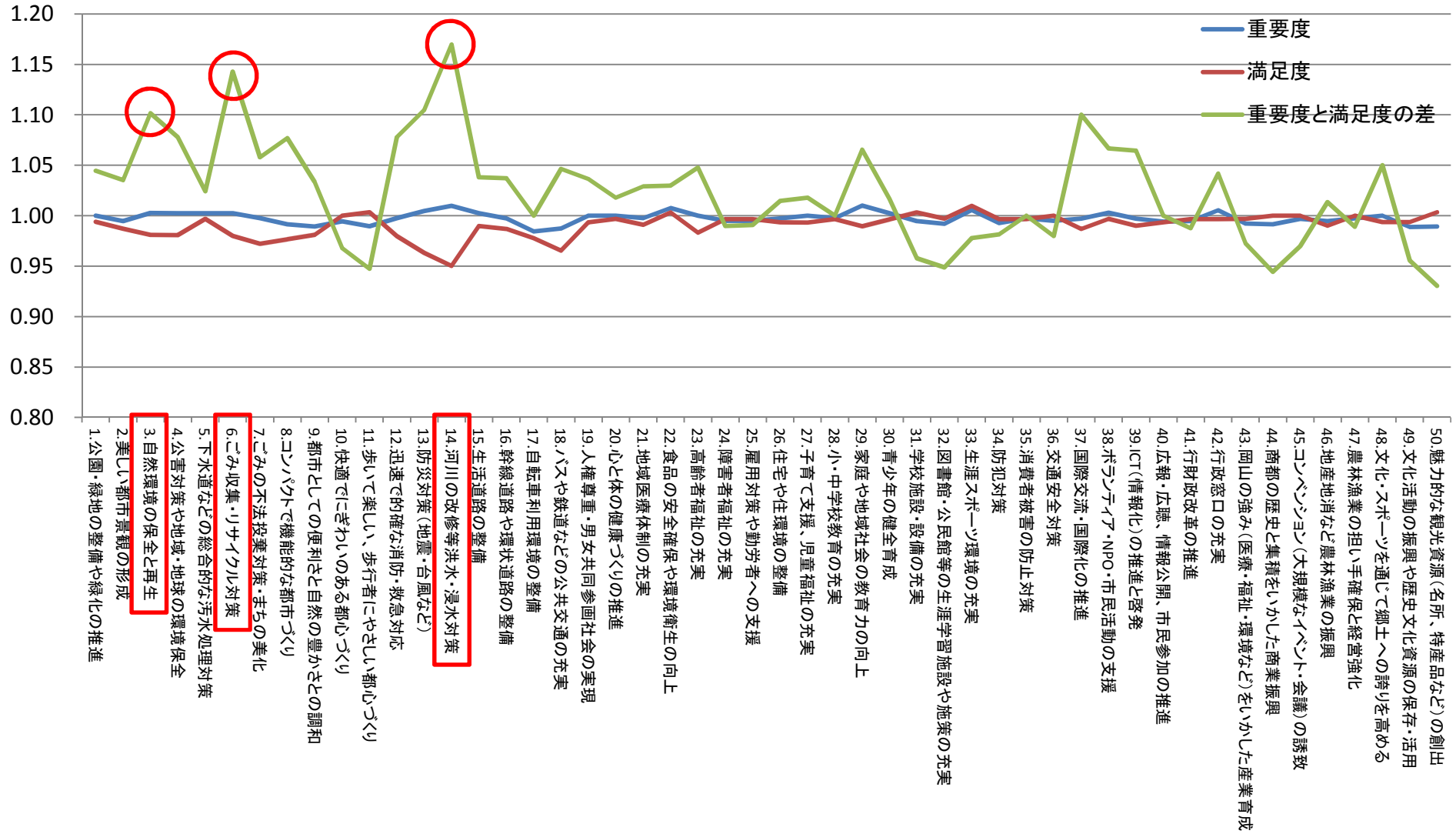
岡山市平均を1とした場合の東区の重要度、満足度、重要度と満足度の差



資料:「H27市民意識調査結果から作成」

# 区別 個別の行政施策に対する重要度・満足度(南区)

岡山市平均を1とした場合の南区の重要度、満足度、重要度と満足度の差



資料:「H27市民意識調査結果から作成」